

第22回 関西六大学合唱演奏会

第22回 関西六大学合唱演奏会

1995年11月3日(祝)

フェスティバルホール

主催：関西六大学合唱連盟



エール交歓

関西大学グリークラブ
甲南大学グリークラブ
関西学院グリークラブ
立命館大学メンネルコール
同志社グリークラブ
大阪大学男声合唱団

I 関西大学グリークラブ

男声合唱組曲「蛙」

- I. 桂離宮竹林の夜
- II. 黒い蛙
- III. 五匹の蛙
- IV. 蛇祭行進曲

作詩 草野 心平
作曲 多田 武彦
指揮 山方 太郎

II 甲南大学グリークラブ

シューマン男声合唱曲「狩の歌」より

1. Zur hohen Jagd 高らかな狩へ
2. Habet Acht! 気をつけろ!
3. Jagdmorgen 狩の朝
4. Frühe 早朝
5. Bei der Flasche 酒瓶と共に

作曲 Robert Schumann
指揮 国松 雅治

III 関西学院グリークラブ

「七つのスペイン民謡」

1. El paño moruno
2. Seguidilla
3. Asturiana
4. Jota
5. Nana
6. Cansion
7. Polo

作曲 Manuel de Falla
編曲 青島 広志
指揮 八木 俊嗣
ピアノ 細見真理子

~Intermission~

IV 立命館大学メンネルコール

男声合唱組曲「ティオの夜の旅」

- I. 祝福
- II. 海神
- III. 環礁
- IV. ローラ・ビーチ
- V. ティオの夜の旅

作詩 池澤 夏樹
作曲 木下 牧子
指揮 小松 弘和
ピアノ 上野 順子

V 同志社グリークラブ

男声合唱とピアノのための「縄文」

- I. 透明
- II. 曙
- III. 行進
- IV. 波の墓

作詩 宗 左近
作曲 荻久保和明
指揮 上野 大介
ピアノ 長田 育忠

VI 大阪大学男声合唱団

男声合唱曲 組曲「御誦」

1. ガラサ道
2. アヴェ・マリア
3. 蓑踊
4. 獅子の泣き唄
5. 御誦

作曲 大島ミチル
指揮 八幡 宏志
アルト 三井ツヤ子
ピアノ 清水 知子
パーカッション 前川 典子/山内 利一

~Intermission~

VII 合同演奏

ヴェルディ・オペラ合唱曲集

1. ヘブライの捕虜たちの合唱
~歌劇~《ナブッコ》より
「行け、わが思いよ、金色の翼に乗って」
2. アンヴィル・コーラス
~歌劇~《ドロヴァトーレ》より
「朝の光がさしてきた」
3. 十字軍兵士と巡礼の合唱
~歌劇~《十字軍のロンバルディア人》より
「おお主よ、ふるさとの家々を」
4. 「ここに明けた、輝かしき喜びの日が」
~歌劇~《ドン・カルロ》より

作曲 Giuseppe Verdi
指揮 辻 正行
ピアノ 長田 育忠



シューマン男声合唱曲

「狩の歌」より

今では一部の人の高尚な趣味となってしまったドイツの狩猟もこの曲が作られた19世紀の中ごろはまだ庶民の生活の一部にありました。当時彼らは、主に熊・鹿・野兎・鳩などを獲り、本当のドイツ料理(ソーセージではない)を食っていました。

皆さんもご存じの通り、ドイツ人の歴史をさかのぼると、狩猟民族であったゲルマン民族にたどりつきます。彼らの狩猟に対する考え方の根底にあるものは、「神は万物すべてを創り、神はそれらすべてを守ってくださる」という精神です。青く澄みわたる空、目の前に広がる大地、夜空に輝く満天の星、尊き水をたたえる湖、黒々と生い茂る森はもちろんのこと、彼らの祖国「Deutschland」、そして狩猟そのものまで神から与えられたと考えているのです。また彼らは曲のなかで自分たちの狩猟を「ドイツの狩猟」として他の国との狩猟とは区別し、自分たちの狩猟に誇りをもっています。木々を切り倒すフランスの狩猟、産業革命の真っ只中の工場の作業音と共に行われるイングランドの狩猟をことごとく非難しています。この事は現代の環境問題に少なからずともつながっているのかも知れません。

本日演奏いたします5曲すべてにこの精神がこめられています。この曲を作った頃、シューマンは重い精神病を患っていましたが、次々と大曲を完成したのもこの頃です。彼にとっての音楽は常に思想や感情、詩的な憧れを表現する手段でした。「画家は絵画で詩を表現し、音楽家は絵画を音楽で表現する」とシューマンは語っています。今回我々は一人一人がドイツ語の辞書を片手に歌詞を訳することによってこの曲に秘められた狩の精神を少しずつではありますが、理解してきました。

音楽をしている人間一人一人が音楽家です。それがバイオリンを弾いているように、太鼓を叩いているように、鼻歌を歌っているように、みな同じ音楽家なのです。今宵は我々が五線という名のパレットに音符という名の絵の具、そして声という名の絵筆でステージをキャンバスにしてこの曲の世界を表現したいと思います。獵師達が、狩を与えてくださった神に感謝することと同じように、歌を与えてくださった神に対する感謝を我々はかみしめながら……。



指揮者 国松 雅治

出身地：愛媛県宇和島「オリックスの平井と同じ高校だった」というのがお国自慢。

特技・趣味：ドライブ、ゲーム、物を食べる(三大学パンフ参照)

うれしいこと：就職先が決まったこと。

悩み：でも卒業できるかわからない。部員が言うことを聞いてくれない。(三大学パンフ参照)体重が増えている。

本人から一言：ごめんたまちゃん、やっぱり俺……。

甲南大学文化会交響楽団

ホルン奏者

新 国義 (法4)

小倉 大輔 (理3)

高尾 千鶴 (文2)

立花伸一郎 (法1)

1. ★ Zur hohen Jagd ★

Frisch auf zum frohlichen Jagen, ihr Jäger,
auf zur Pirsch! Wir wollen den Hirsch erjagen,
den edlen rothen Hirsch. Der Tag steigt auf
in Frische, der Hirsch kehrt heim vom Feld;
frisch auf denn in's Gebüsch, wo er den Wechsel
hält!

Gott gib uns diese Erde mit Allem, was darauf,
Er lehnt' uns Wildesfährte, schenkt' uns den
Büschelauf, und gab uns klare Augen und feste

Hand dazu. Nun spricht, was sollt' das
läugen, blieb' es in trager Ruh!

Drum auf, es lebe das Jagen, dies stete
Gewitter der Welt! Die Traurigen mögen sich
plagen, der Fils mag trachten nach Geld!
Wir sehn am Abend und Morgen nach rust'gen
Thaten hinaus, Weib, Kinder, Schulden und Sorgen
behüte Gott zu Haus!

2. ★ Habet Acht! ★

Habet Acht auf der Jagd! Mancher ist
zu Grund gegangen, weil der Nachbar sich verfangen,
und ein Lauf ist los gegangen.

Habet Acht auf der Jagd! Des geschoss'nen
Kameraden denke jeder jetzt beim Laden:
helfe Gott dem Kameraden, der vollbracht!
Gute Nacht!

Gute Nacht, wer vollbracht! Bei des Mannes
schönstem Drange, bei der Schüsse lust'gem Klange
traf ihn rasch des Todes Schlange. Gute Nacht,
wer vollbracht!

1. 「高らかな狩りへ」

さあ狩人たちよ、楽しい狩りへ！
鹿を狩りに行こう、毛並みのいい赤いやつを、
清々しい一日が始まり、鹿は森から戻ってくる
だから鹿のある森へ行こう

神は我等に万物あるこの世を与えて下さった
神は我等に鹿の足跡を教えてくださり
この銃身と湛んだ目と

力強い手を与えてくださった
静かなままで一体それが何の役にたつというのか！

だから狩人よ、この世の絶えざる雷雨で元氣を取り戻せ
腹かわしいのは心の痛み
フエルト欄は金だけを望んでいる
昼夜をたがわず外では狩りが行われる
神よ、罪と不安から我等を
そして女、子供に、その加護のあらんことを！

2. 「気をつけろ」

狩には気をつけろ！
多くの者が奈落の底に落ちてしまった
隣人は裏にかり、銃で撃たれてしまったのだから、
狩には気をつけろ！
銃に弾を込める時には撃たれた仲間を思い出せ！
神よ、失われてしまった仲間を勇助け下さい
安らかに

安らかに眠れ、もういない仲間よ！
男の研ぎ澄まされた直感で氣に満ちた銃声は
素早い死の蛇となって命中する
安らかに眠れ、今はいない仲間よ

3. ★ Jagdmorgen ★

O frischer Morgen, frischer Muth, wie will
ich euer gedenken! Wer weiss, wird mir
ein solches Gut der Himmel nochmals schenken.
Daheim die Meinen treu und lieb, in mir
der rege Lebenstrieb, und über mir die Sterne!

3. 「狩の朝」

清々しい朝、新たな氣力
私はどれだけお前達に感謝すればいいのか！
そして、私に天からの恵みが今日も再び与えられている事を
誰が知っているのか！
我が家には忠実で愛しい家族、
私自身には湧き立つ命、
そして私の頭の上では星が輝いているのだ

Der Morgen löscht die Sterne aus, er
wirft mit Wind die Baume; ich tret aus dunklem
Jägerhaus, verpustend die kurzen Traume.
Es saugt der Mund die frische Luft,
die Brust schlingt herben Waldesduft, es hofft
das Herz, was weiss ich!

Und klarer, freier wird der Drang,
je mehr der Tag sich lichtet, der Vogel
auch versucht Gesang, 's ist Alles so wohl
gerichtet. Herr Gott, in deinem grossen

Haus, wie schwer mag's sein, wie leicht
sieht's aus, hab' Dank für Jagd und Athmen!

4. ★ Frühe ★

Früh steht der Jäger auf und beginnt
den Tageslauf. Das erste Licht auf's Büschelkom
bringt mehr als ein ganzer Tagesbom.
Dämmer ist Wildes Braut, Dämmer macht Wild
vertraut; was man früh angesehen, wird uns
nicht leicht entgeh'n. Auf zur Jagd!

5. ★ Bei der Flasche ★

Wo giebt es wohl noch Jagerei, als
wie im deutschen Land! Der Franzos' hat
sein Land überlichtet, nichts schonend die Jagd
sich vernichtet: schiesst singende Vogel der Fant.

In Engeland, da ist nichts mehr als
wie das Huhn zu Haus; Fabriken klappern
und stampfen, Maschinen hämmern und dampfen,
das halt kein Wildpret aus.

So trinkt darauf ein volles Glas:
es lebe deutsche Jagd! In Lust die
Traume spinnend, und die kunst,
die Thaten sinnend, die uns so wohl behagt.

Sie ubt die Seele, ubt die Hand,
nahmt Frische, Kraft und Muth.
Wenn's gilt das Reich zu wahren,
wir sind in Waffen wohl erfahren.
Hoch deutsches Jägerblut!

朝が星を天の彼方へと追いやり、
風を掻き鳴らし、樹々に「おはよう」を告げる
私は薄暗がりの中家を出て東の間の幻想に浸る
新鮮な空氣が私の喉を通り抜け、
ほろ苦い森の香りが胸に染み渡る
私には分かる、私の心がそれを望んでいるのを……

心の衝動が掻き立てられるにつれ
太陽は昇り、鳥達はさえずり始める
すべてが心地よくなっていく
神よ、あなたの創ったこの世界はどうして単純にみえて
こんなにも複雑なのでしょう？
神に感謝し祈る、アーメン！

4. 「早朝」

朝早くから狩人の一日は始まる
銃身に注ぐ朝の光は泉の水よりも貴いものだ
その光は森の花嫁の如く
森を明るみへと湧き出す
そして獲物も見えるようになってくるのだ
さあ行こう！狩へ！

5. 「酒瓶と共に」

この世に狩は多々あれど
ドイツの狩はどのものはない！
フランスの狩はただけにない
鳥の昇る前に、未熟者の手によって
さえずる鳥は皆撃ち落とされてしまう

イギリスでは、
それは家畜を飼う以上のものでもない
工場はガタガタと足並み揃え
機械は錠打ち蒸気上げて
そこに野生の立ち入る余地はない

独りで酔い高く行く我等が狩に！
だから飲むのだ、グラスになみなみと湛えられたこの酒を
ドイツの狩に万歳！
歓喜の中、夢は糸を紡ぐ
美術に耽り、さて何をなすかと思索する
そしてそれはとても幸せなひとときなのだ

貴方は心を鍛え、手を鍛え
元氣と力、勇氣を育む
国を守らば我々は能く武器をとるだろう
ドイツの狩の血に乾杯！

「7つのスペイン民謡」

スペインという国は、特殊な風土のために他のヨーロッパ諸国とはひと味異なった文化を生み出してきた。大西洋に面した南端にあることから太陽が強烈に日差しを浴びせる反面、フランス国境などに代表される多くの山脈群や大陸気候のために極度の乾燥状態に陥る。その結果として、民衆たちには「あいまいさ」がなくなり「イエスカノーカ」といったようにはっきりと自己表現を生み出すことになったのである。それらは宗教を見るとはっきりと理解することができる。スペインはまず7世紀から8世紀にかけて信じられないほど徹底したラテン文明を享受し、ヨーロッパ諸国唯一のイスラム文化国と成しえたのである。と思えば16世紀になるとキリスト教が大発展し、当時カスティリヤ地方を「神に近い国」というまでに至るようになっている。そしてどの宗教にも祝祭行事というものはつきものでスペインでは世界一といっているくらい多くの祭りがあり、さらには独特のものも生まれている。まずみなさんがよく知っているのが闘牛ではないだろうか。闘牛というものは、ギリシャ神話において神聖視されている雄牛を崇拜しながらも自然界においては人間のほうが強いということを表現しようとしているともいわれている。そしてそれは牛のみならず闘牛士として参加するスペイン人たちをも「血気盛んな激しい人たち」として位置づけたりもしている。次に出てくるのはフラメンコの舞踊。「オレ！」というかけ声とともに激しいリズムで踊り出すこの起源は東洋の国インドのジブシーから来ているともいわれている。

以上のような背景のもとで発展してきた「民謡(スペイン民謡)」の音楽の中には主に三つの特徴を持ち備えている。まず第一にあげられるのがフラメンコ舞踊などの踊りからヒントを得て作られた「タン、タン、タン」と感じる3拍子法であり、これは多くの作曲家たちがスペインを題材にして曲を作る際には必ずといっていいほど用いられる方法なのだ。次はメリスマと呼ばれる歌唱法だが、これはわかりやすくいうと歌詞の一音節を細かい音符で飾りながら引き延ばして歌う、いわば日本民謡の「おいわけ」や「こぶし」のようなものである。「ミ・レ・ド」と単純に歌うのではなく「ミ・レミレ・ド」というように装飾音符のような形で現れている。スパイスのような存在として音楽の中に現れるのが、何ともいえない楽しさを引き出しているとも言えよう。あと、これはかなり専門的な話ではあるが「ミの魔法」というのがある。音楽を成立させる和音には、主に長調(ド・ミ・ソ)と短調(ラ・ド・ミ)から成り立っておりたいの場合「ド(主音)」を基調にしているが、スペイン民謡の多くは「ミ(第3音)」を基調として作られており、地中海沿岸から東南アジアに見られ西ヨーロッパでは見られない独特の音楽を引き出している。今回の作品は1914年にManuel de Fallaが作曲したものであるが、彼はスペインの超有名作曲家らしく多民族性や強い自己表現を表しているといえよう。そして、今日我々はスペイン人の魂を心の中に秘めて、みなさんを「スペインへの旅」へと案内することになるであろう。

作曲家解説

Manuel de Falla

彼はスペインの南端にある港町カディスに生まれ、幼少のころからピアノを学び、1905年マドリッド王立音楽院主催の新作オペラ・コンクールにおいてのオペラ「はかなき人生」で国家賞を得た。その後「ピアノと管弦楽のための交響的印象」「スペインの庭の夜」、「7つのスペイン民謡」を相次いで発表し、近代スペインの民族主義派を確立させた。またバレエ曲では「恋は魔術師」「三角帽子」なども作曲している。以前までスペイン国の100セベタ紙幣の表を飾っていた彼は、アルベニス・クラナドスと並びスペインの三大民族主義作曲家として知られている。



指揮者 八木 俊嗣
Le MAESTRO

八木 俊嗣 1973年9月6日、神奈川県藤沢市生まれ。関西学院高等部を経て関西学院大学法学部に入學。高等部時代よりグリークラブで合唱界に名を馳せていた彼は、大学入学前にもかかわらず、高3の2月からグリークラブの練習に指揮者及びソリストとして参加していた合唱エリートである。また、入学式では新入生の席に座らず、グリークラブの席で先輩たちと共に校歌を熱唱していたというから驚きだ。

同学年の面々からそのきらめく才能に嫉妬と羨望のまなざしを受けながらも、八木俊嗣はマエストロへの道を7年間順調に進んできた。今やその鋭い目付きと剣を振るうかのようなタクトさばきは、闘牛士を思わせる。今宵は彼の十八番であるスペインもので、我らKGグリーを見事操り自慢の音楽センスの一端を皆様にお贈りすることでしょう。

それでは皆様、八木俊嗣の濃厚な深紅の世界を御賞味あれ！ Adios！
※MAESTRO 名詞(伊)「名人・演奏大家の意」



ピアノ伴奏 細見真理子

兵庫県立神戸高等学校卒業。在学中は合唱部に所属し、ピアノ伴奏を務める。1993年大阪教育大学専攻科ピアノ科修了。ピアノを宮本弘子、瓜原一穂の各氏に師事。

フレッシュアーティストコンサート『ピアノ名曲の夕べ』をはじめ、歌曲・合唱の伴奏等各種の演奏会に出演。また、モーツァルト「レクイエム」、ベートーベン「第九」の練習ピアノを務めるなどの活動をしている。

1. EL PAÑO MORUNO

Al pano fino en la tienda
Una mancha le cayo
Por menos precio se vende
Porque perdio su valor Ay!

ムーア人の織物

店に置いた上等の布地に
しみがひとつついてしまった
もう安値で売られてしまう
だって値打ちがなくなったものアイ!

2. SEGUIDILLA MURCIAN

Cualquiera que el tejado
Tenga de vidrio
No debe tirar piedras
A l del vecino
Arries semos
Puede que en el camino
Nos encontremos
Por tu mucha inconstancia
Yo te comparo
con peseta que corre
De mano en mano
Que al fin se borra
Y creyendo la falsa
Nadie la toma!

ムルシア地方のセギディーリャ

たとえ誰でも
ガラスの屋根をもつ者は
隣の屋根へ
石をほうっちゃんるまいよ
おれたちは馬方どうし
ばったり道で
出くわすかもしれないよ!
あんまり不実なお前ゆえ
おれはお前をくらべてみた
人手から人手へわたる
一枚の銅貨と、
しまいには文字も消え
にせがねだと思われて
誰も相手にしちゃくれまいよ!

3. ASTURIANA

Por ver si me consolaba
Arrimeme a un pino verde
Por verme llorar lloraba
Y el pino como era verde

アストゥリアス地方の歌

もしや慰めてくれるかと
緑の松によりかかれば
(もしや慰めてくれるかと…)
(わたしの泣くのを見て泣いた)
松は、緑の松ゆえに
わたしの泣くのを見て泣いた。

4. JOTA

Dicen que no nos queremos
Porque no nos ven hablar
A tu corazon y al mio
Se lo pue den preguntar
Ya me despido de ti
De tu casa y tu ventana
Y aunque no quiera tu madre
Adios nina hasta mañana

ホタ

おれたちふたりは
好き合っちゃいない、とみんなが言う
だって、二人の話しているのを
だれも見ることがないからね
お前の心と、おれの心に
いちど訊いて見りゃあいいのに……
おれはもう、さよならするよ
お前の家から、窓辺から
たとえお前のかあさんに
もういけない、と言われたとて
さよなら、乙女よ
あしたまたやってくる……
たとえいけない、と言われたとて!

5. NANA

Duermete, nino duerme
Duerme mi alma
Duermete, lucerito
De la mañana
Nanita, nana

子守歌

おやすみよ、坊や、おやすみ
おやすみ、わたしのたましい
おやすみ、夜明けの
かわいらしいお星さま
ナニータ ナーナ
ナニータ ナーナ
おやすみ、夜明けの
かわいらしいお星さま

6. CANSION

Por traidores tus ojos
Voy a enterrarlos
No sabas lo que cuesta "Del aire"
Nina el mirarlos
"Madre a la orilla"
Dicen que no me quieres
Y a me has querido
Vayase lo ganado "Del aire"
Por lo perdido

歌(カンシオン)

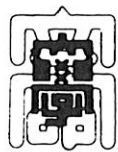
嘘つきのお前のひとみなんか
土の中へでも埋めてやりたい
お前は知らないんだ、娘よーデル・アイレー
その目を眺める者のつらさを
ーマドレ、ア・ラ・アリーリヤー
その目を眺める者のつらさを。
ーマドレー
お前はもうわたしを愛していないんだってね
でも、いちどはたしかに愛したんだよ
このさい損したことよりはーデル・アイレー
得したことの方が大きいよ
ーマドレー

7. POLO

Ay!
Guardo una
Guardo una pena en mi pecho
Que a nadie se la dire
Malhaya el amor malhaya
Y quien me lo dio entender

ポロ

アイ(ああ)!
胸にひめた、
アイ!
この胸にひめた悲しみひとつ
この胸にひめた悲しみひとつ
アイ!
それはだれにも言いはいしない……
呪われろ、恋よ、呪われろ
アイ!
そして、わたしにそれを教えた人も!
アイ!



男声合唱組曲

「ティオの夜の旅」

「ティオの夜の旅」は池澤夏樹の詩集「塩の道」より木下牧子が五編を選び合唱曲として作曲したものである。

池澤夏樹は作詩家としてよりも小説家、エッセイストとして人口に膾炙しているのではないだろうか。1987年「スティル・ライフ」で第98回芥川賞を受賞され、1993年には「母なる自然のおっぱい」で読売文学賞、「マシアス・ギリの失脚」で谷崎潤一郎賞と数々の賞を受賞され、現在も活躍されている作家である。詩集の方は二冊ほど出しているが、もともと小説が書きたかったようで、その二冊以降は小説の方へ傾倒している。今回取り上げた詩集「塩の道」は彼が初めて出した詩集にあたる。「塩の道」には全部で十九編の詩が収められており、それぞれが独立した詩でありながら全体として一つの物語を形成している。彼の父親は福永武彦という作家であり池澤夏樹自身父親の作品を大変評価していたようである。そのため、彼は直接小説には向かわず、詩によって物語を形成するという手法を試みたのである。内容は、海に出た主人公が南へ流れ、ミクロネシア環礁で溺れて死んでしまうものの、また甦ってくるというものである。

彼は旅行が好きで、「塩の道」の舞台でもある南洋方面はよく訪れていて、彼の他の作品にも南の島を舞台にした作品が多くみられる。彼の描く情景は非常に美しく、目の前に南洋の海が広がっていくようである。南の島の美しい風景とそれにちなんだ物語を我々の声で再現できれば幸いである。

「祝福」

組曲中唯一のア・カペラの曲である。各声部がさらに二声に分かれ、合計八部で構成される。荘厳な雰囲気を感じさせる曲である。神と対峙する人々の姿がイメージされ、南洋版 Kyrie (キリエ) といった感じである。

「海神」

8分6拍子が波をイメージさせる軽快なテンポの作品である。海には神は存在しないとユーモラスに説く展開となっている。

「環礁」

静と動の音楽。静かながら不気味さも漂う前半部に対してドラマティックに歌い上げる後半部、非常に重厚な作品である。

「ローラ・ビーチ」

南の島を美しく描きながら自然の雄大さも感じさせる作品。南の島ののどかな1日が眼前に浮かんでくるようである。

「ティオの夜の旅」

詩は非常に難しく、曲は技術の粋を集大成したような作品。ティオが繰り返し魔法の呪文を唱えるが如く、我々も繰り返しの練習の成果を歌に込め、フェスティバルホールに魔法をかけたいものである。

指揮者 小松 弘和

小松弘和、22才。広島城北高校からB大学校にケラれて立命館大学経済学部に入学。

彼のタクトは皮かむり、真の皮かむりである。最近、真の男になったと思われたが、皮かむりの皮が離れず、まだ男になりきれないようである。その痛みをこらえるため、肩が上ってしまうようだ。真面目な性格からあがり症であると皆に勘違いされていたが、単に痛みを我慢しているだけであつた。「ウォー」などと奇声を発し、周囲からはバカじゃねえのと反感を買いながら、演奏会には仔猫ちゃんを連れてあるき、周囲にワザと話に行つては、「うるせー」とのけ者にされてしまう彼。はっきり言って筆者は彼が嫌いである。そんな彼は「Dニーズ」という外食産業から内定をもらい、既に社会人気どりが、4回の前期試験の修得単位数はゼロである。これではもうだめである。前期はメンネルに精いっぱい力を入れたためだと思っているかもしれないが、単に頭がわるいから1つのことしかできないのである。まったくニワトリ同然の彼である。

こんな彼であるが今宵の第4ステージ「ティオの夜の旅」で、どのようなパフォーマンスを披露してくれるか、乞うご期待。



ピアノ伴奏 上野 順子

京都市立芸術大学音楽部ピアノ専修卒業、音楽学部賞受賞。卒業演奏会・読売新人演奏会等に出演。ピアノを荒憲一、横井和子、園田高弘の各氏に師事。大阪にてリサイタルを開催。大阪文化祭奨励賞受賞、NHK洋楽オーディション合格。

I 祝福

光あれ
魚のうろこは予言を包み
潮はあふれる 魂の壺に
帆に描かれたしるしの外に
明日をひろげる神々の網

II 海神

海が神だとは思えない

たしかに
海には精霊がたくさんいて
時おり牛のように気が狂い
右手で嵐を運転しながら
雲を踏んで襲来し
椰子の葉をむしり
舟を盗み 砂を飛ばす
そして水平線へ戻って
空の裏側へかくれ
ぐらぐらと眠る

しかし海は神ではない

鳥の小さな目が上から
海を見おろしてはいても
海はひろがり空虚
いつでも一個のいれもの
だから目は海に色をいれ
耳は潮鳴りをいれ
おれたちは勝手な思いを
それぞれの海にいれて
一歩離れてながめ
なんとなく安心する
そんなわけで 海は
荒びた心を持つ一人の神
ではない

III 環礁

だまされて 風に鳴るビヤの罐
閉じこめられた夏の朝の成層圏
細い低い鳥をひたす長い眠い平穩
昨日は今日 今日が明日 明日はまた...

静かだ 静かだ 静かだ と声高に
舞台裏で告げているイソシギの声
砕ける大洋の砲声と白いしぶきは
沖の環礁から離陸して空をゆく

沈船は身の内に錆を養うばかり
船艙の暗い一隅にまんまとかくれて
ゆっくり揺れている幸福な死体

落下する陽光が砂を熱く打ちすえ
溺れるおまえに魚の視線がまつわる
長い髪は 濡れれば潮 乾けば塩

IV ローラ・ビーチ

人の目が見ていなくても
風景はあるものだろうか

貝の螺旋
月蝕ごとに
珊瑚が育つ
魚の側線
暴風の暗夜
水 珊瑚を砕き
砕けて砂
白く 淡く
積る千年
風のあとがつき
また風に消され
波がひたす

時が満ちる
ゆっくりと日時計
潮の暦日
ゆれている
ぬるい浅い水

誰も憶えていない
誰も気付かなかった
その一日
ど一日
誰も計らない時間
太陽が沈みかけ
水がまた染まる
誰も見ていない
光が勝手に
あふれているだけ
一日
人の耳が聞かなくても
風は椰子の葉を鳴らす

V ティオの夜の旅

ティオは眠れない
正しい姿勢で指を伸ばす
天の方角をぼんやり思う
湿った不安をまぶたの力で追いはらい
魚の呪文を正しく口にしながら
夜の奥へゆっくり泳ぐ
岸から遠くなるのが怖い
満月は背中を向けている
時の水音が耳を満し
魔法が始まる

遠い岸辺の会話が
通信販売の型録にまたがり
空間の彎曲に沿って襲来する
—あそこへは今度いつ行くの?
—いつか もう戻らないつもりで.....
声は反転し 飛散し 消える

魔法はうまく続かない
黒い森が立ちかはる
その奥には何も見えない
肺が重い

その時
電気麻酔が像を結びはじめ
声はみなうまく風景にかわる
モンキーバナナは涙を落し
浅い海はセロファン影
サメは大きな貝の中で白い腹を見せ
せせらぎはくっきりと際立つよう
麻酔は安定軌道に乗った
光ながら夜空をめぐる
丘の上の放送局の塔から
旅はたしかにはじまった

太平洋の草原諸島
ティオの島の広い浜に
少女フェアリ・メイは
黄色い犬をつれて現れる

* 夕方 環礁の残照
犬はティオをにらんでうずくまる
やがて小さな戦いがはじまり
笑う少女の笑う髪は
紙飛行機を離陸させ
彼は千年王国に君臨して
青い発電機をまわす
ティオは夜の間に
知恵を集めてまわる

* この二行は作曲されていない

男声合唱とピアノのための「**縄文**」

指揮するにあたって

この感情を、どう表現すれば良いだろう。『縄文』に出会えた喜び。『縄文』を演奏する時の血沸き肉踊り、魂が満たされていくような、人間の奥深くにまで何かが届いていくような感覚。音楽をやっているこんな体験、初めてだ。この曲に出会ってから四年。まさか自分の指揮で演奏する機会が与えられようとは、考えもしなかった。今夜、僕のすべてをかけて、指揮台に立とう。

この曲は宗左近氏の詩集『縄文』から四篇の詩が選ばれ、作曲されたものである。詩は、戦争という現代の不条理の中で、一方的に死を余儀なくされた魂へのレクイエムという性格が強い。詩人は、それら多くの彷徨える魂と、「縄文」―無垢で純潔な精神と文化を持ちながらも、弥生という文明によって滅ばされた過去の不条理―とを一体化して描こうとしている。しかもその根底にあって詩人を突き動かしているのは、単に魂を慰めようなどという生易しい心情ではなく、強烈な筆の意識である。母を失くし、親しい友を失ったあの戦争。同じ時代を生きたが、自分は生き残ってしまったという負い目。詩集『新縄文』の中の作品「罪と罰」は、次のように始まる。

お母さん あなたを死なせてしまいました
力を尽くせば救い出すことができたのに
ともだちたち きみたちを死なせてしまいました
工夫を凝らせば死地にゆかせないことができたのに

戦争という状況ではどうすることもできなかったのだと、大抵の人が自己弁護及至自己正当化してやりすごすところに、詩人は「罪」を感じる。「縄文」とオーバーラップさせようとする行為もまた、自分は縄文人を犯し、滅ぼした弥生人であると認識するところから始まっているのである。詩人はこの苦しい辛い罪の意識を背負いながらも、懸命に彷徨える二つの魂たちを現代に呼び醒ますようとする。その祈りによって、「地球上に落ちない光」のうらに浮遊し続けていた魂たちは、ゆれあい、きらめきあいながら甦てくる。詩人の深い「愛」がそれらの魂に、確かに生きた証を取り戻させ、鎖魂へと向かわせるのである。

廃墟は廃墟として生きてゆくから
 化石は化石として生きてゆくから
 廃墟の上に虹がたち
 化石の上に虹がたち
 ああ きみたちの落とした未来の種子の花
 わたしたちの瞳の底の記憶の花
 咲かないだろうか
 輝かないだろうか

(『總文連禱』)

『縄文』を振ろうとする時、僕は自分という人間の奥深くにある何かと対峙せねばならないような、重苦しい感覚に囚われる。生半可に取り組もうとする姿勢を、この曲は拒絶するのだろう。だから毎日の練習一つ一つが真剣勝負となる。もちろん、歌う方も。しかしまた、思い入れを強くすればするほど、望み通りに表現することは困難を極めた。僕は部員のみんなに、「そこにある『縄文』という世界にたどり着くんじゃなく、自分の中にある『縄文なもの』を呼び醒ませよう!」と呼び掛けた。何度も何度も同じフレーズを執拗に繰り返し振り、歌わせた。もちろん、うまくいかない時の方が多かった。そんな時は本当にべとべとになった。魂を削り取られていく作業のように思えた。だが、懸命に食いついてくる部員達の熱いまなざしが、僕を新たに奮い立たせてくれた。みんながいなければ、今日のステージなどありえなかった。また、敬愛する長田育忠先生には、本当に数多くの御協力を頂いた。先生がいなければ『縄文』を取り上げるこすらず、なかったかもしれない。

今夜、僕らは一つの魂になりたい。みんなで力を合わせ、この演奏を成功させたい。どうか、聴いて下さい。



指揮者 上野 大介



1973年、大阪に生まれる。春日丘高校時代より、ロック・バンド、クラシックギター、合唱指揮など多岐にわたる音楽活動を開始する。卒業後、同志社大学経済学部に入学生し、ギタークラブ入部を決意。圧倒的才能と強力な統率力で一躍指揮者候補となり、昨年7月の国内演奏旅行において、副指揮者として初のステージに立つ。また、第90回定演では、石丸寛氏による新曲の下振りを担当し、氏より絶大な信頼を得、本番のステージ上では握手を求められるというセンセーショナルなエピソードを生んだ。充実した研鑽期間を終え、今年1月、第64代学生指揮者に就任。2月のフェアウェル・コンサートにおいて「草野野平の詩から」で念願のデビューを果たす。その後直ちにヨーロッパに出発し、ロンドンを皮切りに、パリ・ベルリン・フランクフルト・チューリッヒなど、計5ヶ国7都市において華々しく海外デビューを飾る。その間、本山秀教氏から数多くのアドバイスを受ける。帰国後、6月の同間奏・献演奏会で「草野野平の詩から」を再演。これは多田武彦氏本人をして、「かつてないタイプの名演」と言わしめた上、後日、詳しい感想と賛辞が綴られた手紙を送られるほどの演奏であった。

燃えるような棒と独特の語術で、部員を緻密なアンサンブルへと引き込むが、時にエキセントリックな一面も見せ、指揮棒を投げつけ譜面台を蹴り倒すことも散見。しかし、常に新しい世界へと導こうとする彼に、部員の信頼も厚い。同志社グリーが待ちわびた男、上野大介、ついに六連登場である。

今夜、きっとまた、何かが起こる!!



ピアノ伴奏
長田 育忠

同志社大学法学部
政治学科卒業。



ピアノを山下啓子、
遠山つや、松野景一、
山崎孝、ジョルジュ・
ナードル、H・ビュ
イグ＝ロジェの諸氏
に師事。歌曲伴奏法、
またオルガンをジャ
ーメルオー神父に師事。

主に音楽・合唱音楽等の伴奏者として演奏活動が続けるほか、宗教音楽のオルガニストとしても数多くの演奏会に出演するなど幅広く活躍。

1986年2月、ボストン交響楽団京都公演にスタッフとして参加。

1986年6月、90年1月、91年1月にリサイタルを開催。
社団法人全日本ピアノ指導者協会正会員。

透明
流れる
雲が空に
水に魚が
顔を閉じて
沈む
夕日が枯葉に
涙に瞳が
灯をうつし
ふるえる
鳥が風に
波に星が
しみこんで
溶ける
光りが別れに
眩暈に虹が
襟どられ
ゆがむ
地球が紅に
明日に昨日が
突きいって
吊りあがる
痛みが夜に
宙に今日が
目をむいて
はじまる
物語が夢に

曙
闇が火を喰いて沸わっていた
魂は浮かんたり沈んだりした
火子よ 火女よ
火女よ 火子よ
抱きあって二人は燃えた
燃えうつって一人は消えた
朝が遠かった
海のない結土に
舟が刻み残されていた
煌めいていた炎の涙で
飛べない鳥の翼のなかでしか
濡れた間は喘ういでいなかった
昨日と明日の夕映えだった 破片となった
噴火の墳墓が山にも空にもゆらめいていた

火女よ　火子よ
火子よ　火女よ

吹きあげられた青さの奥で
崩れて雲は煮えていて

魂はただ沈んだり浮かんたりし
地球に落ちない前の曙のように

祈りはまだ湖となることができな
結土の舟は漂いだせないでいた

行進

しんしん　しんしん　しんしん　しんしん　しんしん
しんしん　しんしん　しんしん　しんしん　しんしん

歩め

きみたち行進する
土偶たち行進する

集まれ波　波うて波
ばらばら波　はがれ波
くだけ波　あられ波
波のない波

地球につもらぬ雪のふるなかを
しんしん　しんしん　しんしん　しんしん　しんしん
しんしん　しんしん　しんしん　しんしん　しんしん

おこれよ　地震

落下傘兵が落下傘を追いかけて
夢の底なんかであるものか
飛行機雲が飛行機を追いかけて

うん　うん　うん　うん　うん　うん
うん　うん　うん　うん　うん　うん

うなれよ　仲間

土偶たち行進する
おれたち行進する

集まれ波　波うて波
はなびら波　ちちれ波
めがね波　うろこ波
波のない波

地球にとざらぬ水の散るなかを

うん うん うん うん うん うん
うん うん うん うん うん うん
うめけよ 影たち

落下傘兵が落下傘に追いつかない
夢の底なんかであるものか
飛行機雲が飛行機に追いつかない

はっは ははは はは はは はは
はっは ははは はは はは はは
はきたぜ 炎

土偶たち行進する
きみたち行進する

集まれ波 波うて波
糸くず波 なみだ波
まされ波 えくぼ波
波のない波

地球に落ちない光りの舞うなかを

はっは ははは はは はは はは
はっは ははは はは はは はは
はじけろ 縄文

落下傘兵が落下傘を追いつけない
夢の底なんかであるものか
飛行機雲が飛行機を追いつけない

はっは しんしん うんうん はっは
しんしん はっは うん しんしん

地球をとりまく 眩暈となつて

集まれ波 波うて波
びいだま波 指輪波
はたん波 はたる波
波のない波

波うたぬ波の波のなか
波うたぬ波に波うたせ

おれたち行進する
きみたち行進する

波の墓

ゆれあっている ゆられあっている

暁のなかの暁
暁のなかの海

光りに風を　風に光りを
突きぬけさせて死んだ稲妻

きみたちは決してわたしの夢のうんだ人物であるはずはないことのあかしよ

燃えない炎の波　化石しない炎の墓
透明な時の波　縄文の破片の墓

溶けあっている溶かされあっている
水に血潮を　血潮に水を
突きぬけさせて沈んだ潜航艇

きみたちは決してわたしの歌に踊らされた音符であるはずはないことのあかしよ
たとえわたしがきみたちの歌の音符の影であるにすぎないとしても

暁のなかの海
海のなかの暁

きらめきあっている　きらめかされあっている
夢に鏡を　鏡に夢を
突きぬけさせて裂けた潜望鏡

きみたちは決して地球の夜から落ちた星屑であるはずはないことのあかしよ
たとえわたしがきみたちの星屑から欠け落ちた砂粒であるにすぎないとしても

降りかかっている　砕かれあっている
海のなかの暁
暁のなかの海

明日に昨日を　昨日に明日を
突きぬけさせて消えた夕焼け空

きみたちが決してわたしの鏡のなかの夢であるはずはないことのあかしよ
たとえわたしがきみたちの夢のなかの鏡であるにすぎないとしても

燃えない炎の波　化石しない炎の墓
透明な時の波　縄文の破片の墓



男声合唱曲 組曲

「御 誦」

「御誦」(おらしょ)とは、「祈り」を意味するラテン語「oratio」が日本語に転じた言葉である。

1549年、フランシスコ・ザビエルが渡来して初めて伝道して以来、キリスト教はそれまで日本にあった仏教とは全く異なる思想と、天文学をはじめ暦学、地理学、医学などの豊富な知識をもって、階級の下を問わず多くの人々の中に浸透していった。時の権力者である信長や秀吉は政治的な目的から、つまり貿易の必要性や本願寺並びに比叡山への対抗勢力として統一事業に利用するために、キリスト教の布教を認めていたが、その権力者たちの意図とは裏腹にキリスト教は人々の心の中へ浸透して行き、1582年にはその信徒数は15万人にのぼったとさえ言われている。

このように拡大していったキリスト教は大きな転機を迎えることになる。秀吉の宣教師追放令(1587)である。やはり秀吉は自らの思い描く支配体制とキリスト教の思想が相いれないものであることを思い知り、そしてたった30年ほどの間にここまで民衆の中に広まっていたキリスト教を恐れたのであろうか。いずれにせよ厳しいキリスト教弾圧・迫害の歴史はここに始まった。これ以来徳川幕府による禁教、島原の乱を経て幕府の崩壊に至るまで約250年の間、キリスト教は邪教としての扱いを受けることになるのである。

この厳しい弾圧の下でキリスト教を信じた人々はどうしていったのか。多くの人々が生きるために仏教に改宗し、そのままキリスト教を忘れていったのであろうし、またキリスト教を捨てられずに殉教の道を選んだ人々もいた。そして表向きは改宗しながらもキリスト教のみを真に信じて生きる人々がいた。「隠れキリシタン」である。彼らは聖画や聖像を日本風のものに作り直し、キリシタン時代の遺物を守って心のよりどころとし、禁制下の日本で、表向きは仏教者として振るまいながらもキリスト教の信仰を守り抜いてきたのである。そして、宣教師達が伝えた本来の形からは大きく姿を変えながらも伝えられて来た様々な宗教儀礼と同じく、日本の民謡や地歌、仏教や神道などと交錯しながらも現代に伝えられて来た聖歌、それが「おらしょ」なのである。

秀吉の宣教師追放令から3世紀以上経た現在も、長崎県西彼杵半島や五島列島、平戸の村々には「隠れキリシタン」としての信仰を守り続ける人々がいる。長年にわたる口承の結果、「おらしょ」は既に彼ら自身にとっても意味不明な唐言葉となっており、もはや神に対する応答として働くことはないが、彼らはこれを唱える事それ自体に救いを求めるのである。

「おらしょ」は長きにわたる迫害の歴史の中で救いを願い続けた「隠れキリシタン」の想いの結晶である。そしてその想いは、時代こそ違えど、現代の我々の平和と幸福を願う想いと何ら変わるものではないと信じる。今宵、我々は「隠れキリシタン」の、そして我々自身の救われない時に思いを馳せながら、「御誦」に人類普遍の祈りを込めて歌いあげたい、と思う。

指揮者 八幡 宏志



八幡は要領がいい。彼には幼少の頃から音楽に触れ、タクトを振ってきたという経験がある。更に二年間団員の知らない音楽理論をふりかざし、みんなをケムに巻いてきた結果、今や技術に関する信頼は絶大である。

また「オレは合唱人じゃねえよ」と言いながら、合唱団が有名な某銀行にちゃっかり内定して、「オレの銀行は不良債権なんかでつぶれねえよ」とほざいている。もっとも、彼の単位の方がよっぽど不良債権で西村知美もまっ青らしい。今年中に回収、卒業できるのか楽しみである。

S.48.12.26生まれ。指揮者として活動する一方、創作活動にも力を入れており、「あ、やめた」「古宮あ、ちょっと」等の代表作で一部のものまねマニアを熱狂させている。

パーカッション 前川 典子



1994年京都市立芸術大学音楽学部卒業。奈良県新人演奏会に出演。日本打楽器協会新人演奏会に関西支部より推薦され出演。奈良交響楽団と協演。小川順子、久保田善則、上笠孝、山本毅の諸氏に師事。現在、フリーの打楽器奏者として、関西を中心に活動中。マリンバ、アンサンブルグループ「Koega (コエガ)」のメンバー。

パーカッション 山内 利一



現在、京都市立芸術大学音楽学部四回生に在籍。大口久仁子、小谷康夫、山本毅の諸氏に師事。在学中より、オーケストラ、室内楽、ソロ等で活動中。

ピアノ伴奏 清水 知子



京都市立堀川高校音楽科を経て、京都市立芸術大学音楽学部ピアノ専攻を卒業。辻紀子、武田宏子、遠藤秀一郎、松井和代、小澤雅世、荒憲一、笠原成子の各氏に師事。また、チェンバロを泰山操氏、室内楽を田中正大氏、リート伴奏法を北村敏則氏それぞれ師事。94年に初めてのソロリサイタルを京都と大阪にて開催。室内楽や伴奏で数多くの演奏会に出演、今後更にその活動分野を広げるべく意欲的に取り組んでいる。

アルト 三井ツヤ子



京都市立芸術大学音楽学部声楽科卒業、稲畑賞受賞。NHKオーディション合格。学生時代、植田治男氏、佐々木成子女史に師事。1975年ウィーン国立音楽大学リート・オラトリオ科入学。帰国後、再び教職に復帰した後、1978年に渡独、1986年3月迄フランクフルト国立音楽大学、カールスルーエ国立音楽大学講師として教鞭をとるかたわらドイツ国内を中心に演奏活動を続けてきた。リーダー・アーベントの他、バッハ作曲「クリスマス・オラトリオ」や「ヨハネ受難曲」「マタイ受難曲」、ヴェルディ作曲「レクイエム」のアルト・ソロ、ロッシニ作曲「スタバート・マータ」の第2ソプラノ・ソロ、ブラームス「ドイツ・レクイエム」のソプラノ・ソロ等に出演。1984年東京でのシュトゥットガルト・バッハ特別演奏会ではアルト・ソロを歌った。1984年、85年とシュトゥットガルトにおけるバッハ夏期講習の講師をつとめた。NHKのラジオやテレビ放送に出演。故アリーン・オジェー女史、エリック・ヴェルバの各氏に師事。現在、京都市立芸術大学助教授、同志社女子大学音楽学部嘱託講師、関西二期会会員、シュベルト協会同人。

1. ガラサ道

ガラサガラサ みち玉ふ マリア
マリア アーメン
Ave mater マリア アーメン
ガラサガラサ みち玉ふ マリア

2. アヴェ・マリア

Ave Maria gratia plena
Dominus tecum
Ave Maria Amen.
Ave Maria Dei ora pro nobis
Ave mater.
Ave Maria gratia plena
Ave mater.

Ave Maria.
Maria Maria Amen.
Ave Maria Amen.

3. 蓑踊

おどりや おどりや 蓑を着ておどりや
ハアー ヤー それ ヤー ハアー
どこがよいか 主さんはどこがよい
ハアー どこがよいと問われて アハアー
おどりや おどりや おどりや
あつか火を浴びて おどりやおどりや
蓑を着ておどりや おどりや
あつか火を浴びて おどりやおどりや ハッ
Amen 今あかく 燃え尽き
神よ みまもりたまえ Amen
おどりや おどりや おどりや

4. 獅子の泣き唄

獅子の泣き唄よ 仏の前でねー
ひとつあげれば供養になる
潮は半(なから) 満ち 月や八(やち) さがるね
心細さよ鳥の声
麦は熟れて 漁師は帰る
井戸の鉄瓶のよ 波打つゆえにね
水に逢わずに 苦勞する
泣きヨ 獅子のヨ

5. 御誦

ガラサガラサ みち玉ふ マリア
マリア アーメン
Ave mater マリア アーメン
ガラサガラサ みち玉ふ マリア
ドメジャコベナッド
ガラサ マリア アーメン ジョズ
ツイモレンソ クロンツ
ベナケンツ オン ハ デンゲン ドリナン
ガラサ マリア アーメン ジョズ
キリモンヤ カシャベーナ キリモンヤ
ガラサ マリア アーメン ジョズ

Ave Maria. Ave Mater
Dei ora Pro nobis
Amen.

ヴェルディ・オペラ 合唱曲集



●作曲家について

ジュゼッペ・ヴェルディ (Giuseppe Verdi; 1813-1901) は19世紀の中期から後期にかけて活躍をしたイタリア・ロマン派を代表する大作曲家です。

北イタリアの農村に生まれたヴェルディは素朴な精神性と、おりしも展開されたイタリア独立運動で培われた激しい情熱をその作品に注ぎ、終生「人間性の真実」を追究し続けました。

彼は生涯に26曲のオペラを書いています。一般には①独立運動を背景とする愛国的内容を有した第一期(『エルナーニ』『マクベス』『海賊』など)、②ロマン的で、純文学的な傾向を強めた第二期(『リゴレット』『トロヴァトーレ』『椿姫』など)、そして③ヴァー

グナーの影を感じながらもイタリアの(メロディ)を保持しつつけた円熟期ともいえる第三期(『アイダ』『オテロ』『ファルスタッフ』など)に分けられています。

彼の偉業の数々は簡単には書き尽くすことなど出来ないくらい大きく深いものですが、ことオペラに関していうならば、音楽と演劇における『ドラマ性』の融合をそれまでの誰よりも見事に成し遂げた点にあるといえるでしょう。そのために彼は、テキストである原作に高い「文学性」をもとめる一方、音楽表現においては、あまりにも技巧に走りつつあったプリマドンナ主義に訣別し、写実的で説得力に富むバリトンを重視するなど様々な点でオペラに新しい考え方を取り入れていったのです。

そして、これらはヴェルディにとって舞台という世界で「劇の真実」を表現し、また、そこに繰り広げられる「人間心理の細かな描写」を可能にする為のかけがえのない手法だったといえると思います。

「うた」に生きた作曲家ヴェルディ……、彼が目指した「真実」はすべて彼の(メロディ)に秘められています。

坂元 勇二

●メッセージ

40年間楽しく合唱をやって来た私にとって現在の合唱界のあり方に少々納得出来ないものがあります。中学生や高校生が合唱団を辞めていくのが受験地獄のせいだけではなさそうだし、大学時代合唱団で活躍していた仲間が社会人になって合唱をはなれていくのも、仕事が忙しいだけではなさそうなのです。

合唱が鍛えるもの、厳しいもの、己をみがくものであると思われてはいないでしょうか。超絶技巧の楽曲を見事に演奏して行くことに喜びがないとは言えませんが、しかし楽しみがあるのでしょうか。憩いや安らぎがあるのでしょうか。今日ここに私達は喜びのおたけびをあげ、悲しみ、苦しみを歌によって慰め、嬉しさ、喜びを声たからかに歌います。音大時代からオペラにうつつをぬかし日本で最初の(何と古い)学生の自主的オペラを公演したかつてのオペラ青年は懐かしいあのイタリア歌劇のステージを思い出しながら指揮台に登ります。オペラの合唱はまさに喜び悲しみをうたう人間の叫びです。ごいっしょにお楽しみいただければ幸せです。

辻 正行

合同指揮者 辻 正行

1955年武蔵野音楽大学声楽科卒業、1958年同大学専攻科修了。学生時代より長門・藤原歌劇団で歌い、卒業後はNHK東京放送合唱団に入団。テノールを歌い、イタリア・オペラ等にも参加した。1965年NHKを離れフリーに。この年より日本で初めての邦人作曲家の〈個展〉をコンダクト・リサイタルとして開催する。またその流れをくむ邦人作曲家の〈作品研究会〉にも高い評価が与えられている。

1983年9月、TCF(辻コーラスファミリー)合唱団を率いた朝比奈隆指揮によるブルックナー〈ミサ曲へ短調〉の演奏は日本ビクターよりレコードとして発売され多方面から賛辞の声が寄せられた。

全日本合唱コンクールで、多数の団体を連続金賞に導き、1984年コーラス・オブ・ザ・ワールド賞を受賞。ウィーンでの「第九」公演他、各地での海外公演を成功させ、1988年「コンダクト・リサイタル」を再開。小編成の声楽アンサンブルに着目、「声」の新たな地平を拓こうと意欲を燃やしている。

現在、(社)全日本合唱連盟副理事長、日本合唱指揮者協会理事長、東京都合唱連盟理事長。



●作品について

歌劇『ナブッコ』より

行け、わが思いよ金色の翼に乗って〈ヘブライの捕虜たちの合唱〉

1842年初演。旧約聖書のいわゆる「バビロンの捕囚」、そこで展開されるバビロニア王ナブッコのふたりの娘の間に起こる愛憎劇が題材となっています。そして、そのストーリーが初演当時オーストリアの支配下にあったイタリア人の独立運動を刺激しました。

「行け、わが思いよ金色の翼に乗って」は第三幕第二場で捕虜の身であるユダヤ人たちが故郷に帰る日を夢見て歌う曲です。

歌劇『トロヴァトーレ』より

朝の光がさしてきた〈鍛冶屋の合唱〉

1853年初演。15世紀のスペインを舞台に、迫害下にあったジプシーが領主への復讐をなしとげるというストーリーをもった悲劇です。

「朝の光がさしてきた」は第二幕の幕開けでジプシーたちによって歌われる陽気な「アンヴィル・コーラス(鍛冶屋の合唱)」です。美しい「旋律」と「声」が交差するイタリア・オペラを代表する「華」のあるオペラです。

歌劇『十字軍のロンバルディア人』より

おお主よ、ふるさとの家々を〈十字軍兵士と巡礼の合唱〉

1843年初演。11世紀末の第一回十字軍が題材となっています。美しいヴィクリングをめぐって兄弟で敵(かたき)同士となったロンバルディア貴族のアルヴィーノとバガノ、そしてアルヴィーノの娘ジゼルダとサラセン王子オロンテとの恋……、それらが織り成す人間模様が描かれています。

「おお主よ、ふるさとの家々を」はフィナーレ近く、第四幕第二場で十字軍兵士と巡礼が遠く故郷を想って歌います。

また、このオペラもまた『ナブッコ』同様、イタリア独立運動に力を与えた作品として高く評価されています。

歌劇『ドン・カルロ』より

ここに明けた、輝かしき喜びの日が

1867年(改訂版は'84年)初演。'67年版はフランス語で、'84年版はイタリア語で歌われます。16世紀のスペインが舞台、国王フィリッポ二世の新しい妃エリザベッタに恋心を抱く王子ドン・カルロが、ふたりの仲に疑いをもった国王により宗教裁判にかけられるという悲劇をストーリーとしています。

「ここに明けた、輝かしき喜びの日が」は第三幕第二場、異端者火刑の日、大聖堂前の広場で民衆が国王を讃える壮大に歌う合唱です。『ドン・カルロ』はヴェルディ作品の中であって、その人間の心理を深く表現した点でも、非常に重要な意味を持っています。

“ヴェルディ芸術のひとつの頂点”……そう呼べるかも知れません。

坂元 勇二



ピアノ 長田 育忠



I. NABUCCO

Ebrei

Va, pensiero, sull'ali dorate ;
Va, ti posa sui clivi, sui colli,
Ove olezzano tepide e molli,
L'aure dolci del suolo natal!
Del Giordano le rive saluta,
Di Sionne le torri atterrate...
Oh mia patria sì bella e perduta!
Oh membranza sì cara e fatal!
Arpa d'ôr dei fatidici vati,
Perchè muta dal salice pendì?
Le memorie nel petto raccendi,
Ci favella del tempo che fu!
O simile di Solima ai fati
Traggi un suono di crudo lamento,
O l'ispiril Signore un concento
Che ne infonda al patire virtù!

II. IL TROVATORE

Zingari

Vedi, le fosche notturne spoglie
De' cieli sveste l'immensa vòlta :
Sembra una vedova che alfin si toglie
I bruni panni ond'era involta.
All'opra, all'opra! Dàgli! Martello!
Chi del gitano i giorni abbella?
La zingarella!

Uomini

Versami un tratto : lena e coraggio
Il corpo e l'anima traggon dal bere.

III. I LOMBARDI

Crociati e pellegrini

O Signore, dal tetto natio
Che chiamasti con santa promessa ;
Noi siam corsi all'invito d'un pio,
Giubilando per l'aspro sentier.
Ma la fronte avvilita e dimessa
Hanno i servi già baldi e valenti!
Deh! non far che ludibrio alle genti
Sieno, Cristo, i tuoi fidi guerrier!
Oh fresc'aure volanti sui vaghi
Ruscelletti de' prati lombardi!
Fonti eterne! Purissimi laghi!
Oh vigneti indorati dal sol!
Dono infausto, crudele è la mente
Che vi pinga sì veri agli sguardi,
Ed al labbro più dura e cocente
Fa la sabbia d'un arido suol!

歌劇《ナブッコ》第3幕から
ヘブライの捕虜たちの合唱
〈行け、わが思いよ、金色の翼に乗って〉
ヘブライ人たち

行け、我が思いよ、金の翼に乗って、
行って、憩え、あの丘に、山に。
あそこには、ぬくく、やわらかに
故国の甘い風が薫っている。
それから挨拶を、ヨルダン川の岸辺に
シオンの丘の崩れた塔に、届けてくれ。
ああ、あの美しい今は失われた我が祖国！
ああ、あの懐かしき不幸な思い出！
運命を告げるといふ予言者の金の豎琴よ。
なぜお前は、黙して、柳の木にかかっている。
うちに収めた記憶を取り出して
過ぎし日を、我らに、語ってくれ。
あるいは、エルサレムの運命に似せた
悲しき嘆きの歌を響かせてくれ。
さもなくば、神から授けて、聞かせてくれ
苦しみに耐える力となる楽の音を。

歌劇《トロヴァトーレ》第2幕から
ジブシーの合唱（アンヴィル・コーラス）
〈朝の光がさしてきた〉

ジブシーたち
見ろよ、そうら、黒く暗い夜の衣を
大空が脱ぎ捨てていく。
似ているぞ、やつのことには、後家さんが
まとうていた黒い服を脱ぎ捨ててるのに。
さあ、仕事だ、仕事！ 打て！金槌！
ジブシーの生活にいろいろをそえるのは？
そりゃ、ジブシー娘！

男たち

俺に一杯ついてくれ、飲めば
心も体も、生気と勇気を得るってものさ。

全員

ほら、そら、そら、太陽の光が
盆の中で、いよいよ輝きをましてきた！
さあ、仕事だ、仕事！
ジブシーの生活にいろいろをそえるのは？
そりゃ、ジブシー娘！

歌劇《十字軍のロンバルディア人》第4幕から
十字軍兵士と巡礼の合唱
〈おお主よ、ふるさとの家々を〉

十字軍兵士と巡礼
おお神よ、生まれし家より
聖なる約束もて我らを召し給うた神よ、
我らは聖なるお呼び出しに従い
喜び勇み、険しい道を、馳せ参じました。
しかし、勇気と力ある、神の僕なる我らも
ここに打ちひしがれ、頭をたれています。
どうか、キリストよ、我ら神の忠実なる戦士が
万民の嘲笑の的になることのなきように！
ああ、涼やかな、美しい小川に吹く
ロンバルディアの野の風よ、
こんこんと湧く泉よ、あくまで澄んだ湖よ、
ああ、太陽に染まり金に輝く葡萄畑よ！
なんと醜い、不幸な、天からの授かりものか、
目の前に見えるように故郷の姿を思い出させる記憶とは。
お蔭でより一層、唇に熱く、固く感じられる
この乾いた土地の砂が。

IV. DON CARLO

Popolo

Spuntato ecco il dì d'esultanza,
Onore al più grande de'Re!
In esso hanno i popol' fidanza,
Il mondo è prostrato al suo pie'!
Il nostro amor ovunque l'accompagna,
E quest'a mor giammai non scemerà.
Il suo nome è l'orgoglio della Spagna.
E viver deve nell'eternità!

Frati

Il dì spuntò, dì del terrore.
Il dì tremendo, il dì feral.
Morrán, morran! giusto è il rigore
Dell'Immortal.
Ma di perdòn voce suprema
All'anatema-succederà
Se il peccator all'ora estrema
Si pentirà!

歌劇《ドン・カルロ》（5幕版）第3幕から
〈ここに明けた、輝かしき喜びの日が〉
民衆

ここに明けた、輝かしき喜びの日が。
誉れあれ、王に王たる我らの王に。
我らはみな、王を信頼し、
世界はその足下にひれ伏している。
我らの愛は、いずこへなりと王に従い、
そしてこの愛の、かけることは決してない。
王の御名はスペインの誇り、
御名は、必ずや、永遠に輝き続けよう。

僧侶たち

その日が始まった、恐怖の日が、
恐るべき日が、死をもたらず日が。
あの者らは死ぬ、死ぬことになる！
神の掟は常に正しい。
だが、破門の裁きの後にも
神のゆるしの声は聞かれよう
もし、罪人がいまはの際に
悔い改めるなら。

YEAL GLEE CLUB ASIA TOUR '96

エールグリークラブ日本公演決定！

◆ 1996.6.19 大阪公演

Joint Concert with

・関西学院グリークラブ
・武庫川女子大学コーラス部

at 尼崎総合文化センター アルカイクホール

◆ 1996.6.20 京都公演

Joint Concert with

・同志社グリークラブ

at 同志社女子大学内 栄光館

お問い合わせ先／関西学院グリークラブホール TEL/FAX(0789)52-6471



慶應義塾ワグネル・ソサィエティー男声合唱団 第120回定期演奏会

男声合唱とピアノのための「祈りの虹」 指揮：畑中 良輔・佐藤 正浩
 「サミュエル・バーバー歌曲集」 北村 協一・柴田裕一郎
 「Nanie (哀悼の歌) op.82」 ピアノ：谷池重紬子・藤田 雅
 男声合唱組曲「在りし日の歌」 黒澤 紀子
 喜歌劇「ジプシー男爵」より 独 唱：大川 隆子

大阪公演 1995. 12. 9 Sat. ザ・シンフォニーホール

15:00開場 16:00開演

S(指定) 2,000円 A(指定) 1,500円 B(当日指定) 1,000円(14:00より座席券と引換)

●お問い合わせ 関西学院グリークラブ 0798(52)6471 慶應ワグネル・高田 0423(44)3617
 ●チケットのお求め 慶應ワグネル・高田 0423(44)3617 チケットぴあ 06(363)9999



VIDEO, RECORDING, DESIGN

株式会社 サウンドスタジオ OKA

〒606 京都市左京区下鴨半木町70
 ☎(075)712-5710 FAX (075)721-0835



Apple Computer
 Authorized Reseller

出力サービス・システム設計・販売・サポート

OKA GRAPHIC CENTER

〒606 京都市左京区下鴨半木町70
 ☎(075)711-6155 FAX (075)711-6758



私達スタッフは、皆様とのコミュニケーション
 を大切に実績ある技術で今宵のコンサートの
 CD・ビデオテープ制作を担当しております。

あっ！こんなところに

第45回 東西四連

at フェスティバルホール

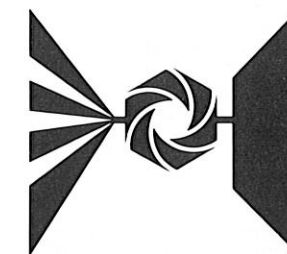
1996年6月30日(日) 東西四大学合唱演奏会 atフェスティバルホール
 お問い合わせ先 関西学院グリークラブホールTEL/FAX(0798)52-6471

きらめく瞬間を 未来に伝えたい。

好きなことをしている時、
 感激で胸がいっぱいになった時、
 誰もが、とってもいい顔をしています。

あなたの記念すべきその時を、あなたの素敵にきらめくその瞬間を、私達はのがしません。

未来に残す素敵な記念写真をお届けするために、いつもいっしょうけんめいの
 大阪フォトサービスです。

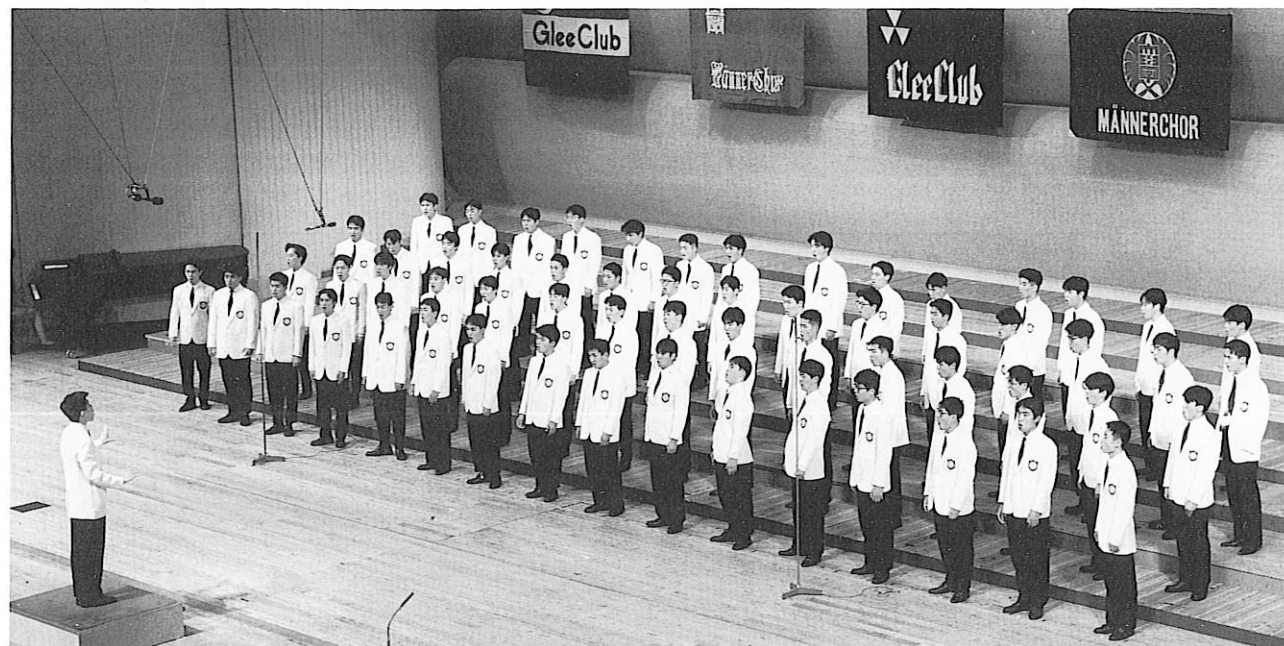


OSAKA PHOTO SERVICE

株式会社 大阪フォトサービス
 〒550 大阪市西区江之子島1丁目5-17
 TEL. (06) 443-7608(代表)
 FAX. (06) 443-4437



関西大学グリークラブ



「平成蛮カラ集団・関大グリー」

春、15名の新たな精鋭達を加え、いよいよ波に乗る関大グリー。5月の六連大運動会では、あまたの関グリファンにお応えしようと馳せ参じて行ったが、惜しくも雨で中止。関グリメンの怒りと悲しみの深さは、いやおうもなく六連マネの頭にぶつけられたことは、周知の通りである。(関グリ著「貴女に贈るよい子の断髪式」より一部抜粋)

6月の第34回関交歓演奏会は、おひねり飛び交う大盛況のうちに終わり、今年の関大グリーは例年以上に気合の入ったハーモニーとパワーを発揮することが出来ました。

本日演奏致します「蛙」におきまして、多種多様の若蛙の唱います魅惑の世界へと、皆様をお連れ出来れば幸いに存じます。

末筆ではございますが、御多忙にもかかわらず我々を御指導下さる横田浩和先生、沢田和夫先生をはじめ諸先生方に部員一同感謝致しますと共に、今後一層の御指導、御鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

関西大学グリークラブ



主将 寺田 佳弘

明日のD和の救世主 寺田 佳弘 37歳

3年ほど前、うなぎパイを持って静岡県の山奥からはるばるやってきた彼は、同じうどん屋の下宿に住んでいらっしゃる先輩に目をつけられ、関西大学グリークラブに入ることになった。高校時代、彼は野球部でバットをにぎりしめ、ボールを飛ばし、毎日厳しい練習もたえぬいできたが、今では、バットをにぎりしめられ、白球を飛ばしている。また、彼は静岡県出身だけあって、サッカーも上手く、球をころがすのが得意であるが、ころがされるのも得意だ。

そんな彼も今では、関西大学グリークラブの主将として、愛用のマイルドセブンでのどをうるおし、得意のファルセットで我々部員を引っばり、威厳はあるのだが、髪の毛はない。クラブが休みとなれば、下宿でマージャンをし、徹マン明けの教習所でいねわり運転をしては、よく車を壊している(もったない)。また、メンツが集まらない時は、遠く兵庫の山奥から彼女を下宿に呼び出し、二人で暗闇の中、倍音について研究しているらしい♡

関西大学学歌

自然の秀麗 人の親和
たぐいなき 此の学園
我等立つ 人生の曙に
燦たる理想を 仰ぎつつ
学ぶは一途 純正の
若き心に 讃えなん
関西大学 関西大学
関西大学 長き歴史

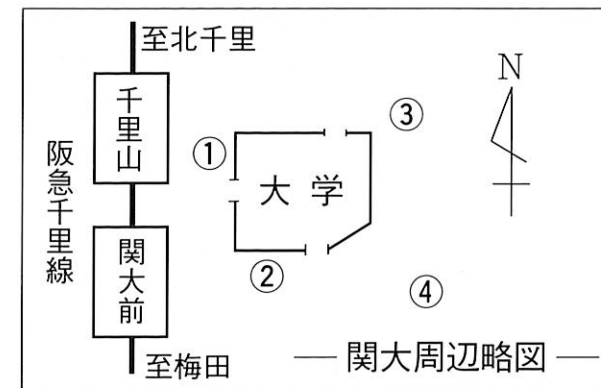
Stage 1

娯楽の殿堂 MAHJONG



①雀荘 S井亭

関西大学の西に位置し、正門から歩いて3分という、とても便利な所にある。ゆえに、みんなのたまり場と化している。昔は少しはプライベートもあったらしいが、スーファミ購入以来、カプセルホテル化した。現在に至っては、雀荘と化し、夜な夜な、ジャラジャラと音がしている。



元祖 たまり場



②カプセルホテル N村

関西大学の南に位置し、工学部の裏門を降りるとすぐそこにカプセルホテルN村がある。学校に近いということで、昔からよくたまり場として愛用されている。とにかく、いつ訪問しても、必ず2人以上のお客さまがいるという、すごい場所である。かつて、このせまい部屋で、9人もの人が泊まったこともあるという伝説を残した場所でもある。

これがうわさの 関大スラムだ

今年2月にOPENしたばかり

③ゲームランド I野



関西大学の北東に位置し、裏門から5分の所にある。今年、新築で冷暖房完備、風呂、トイレのセパレートという高級ワンルームである。当初は皆、貧乏生活に慣れていたので、なかなか近寄りたかったようだが、だんだん快適を求めてたまるようになってきた。ここにはさまざまなゲーム機が存在し、まるでゲームセンターのようである。

客質の悪さは関大スラム No.1

④居酒屋 橋〇ハイツ



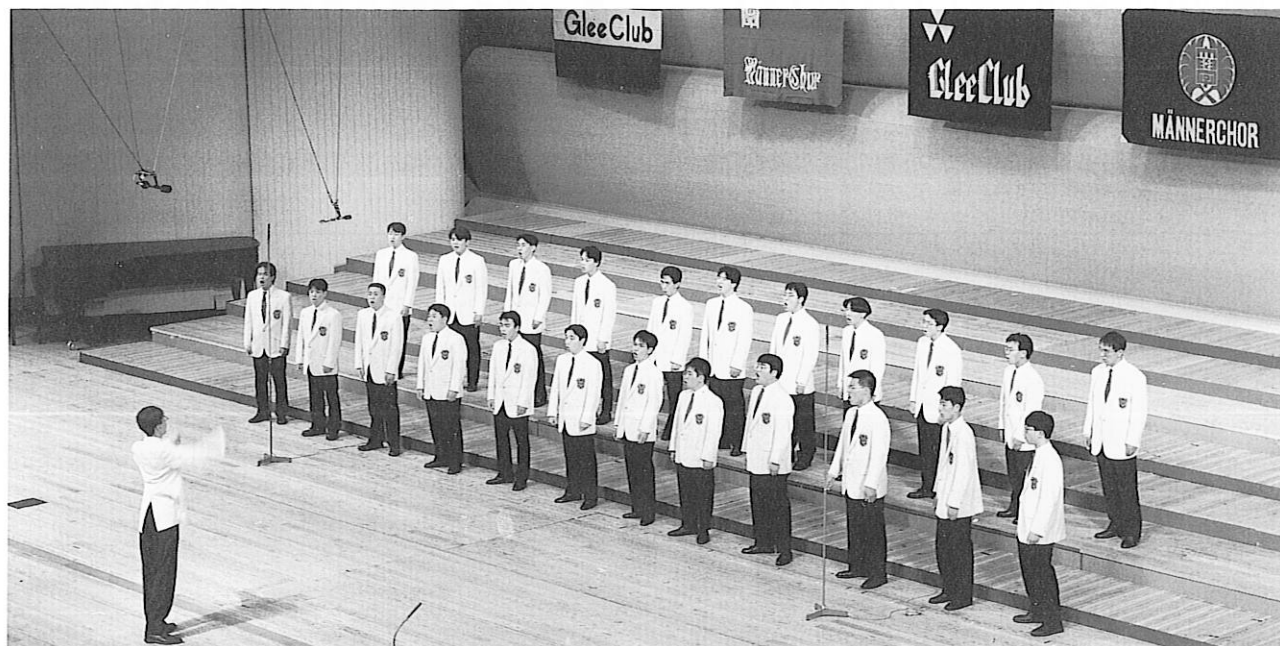
関西大学の東に位置し、工学部の裏門から5分くらいの所にある、夏暑く、冬寒いという自然と適応している場所である。ここには、酒を水のかわりとして飲む酒豪がいるためか、よく酒盛りが開かれている。とにかくここは、酒が尽きることがなく、酒を全部飲みきったと思ったら、どこからか補給されている。ただし、この大家さんはうるさいので、さわぎすぎには注意!

このように無料奉仕施設があるためにグリーメンの夜は保証されている。ただし、ここに紹介した部屋の主にプライベートという言葉は存在しない。



甲南大学グリークラブ

Stage 2



拝啓 皆様お元気でしょうか。今年の初めに私達を襲った地震のことなど遠い昔の記憶になりそうなほど、世間はあわただしく流れています。しかし私達甲南大学の周りの閑静な住宅地には空地が目立ち、また大学の校舎の六割以上が取り壊され、グラウンドには仮設の校舎が立ち並んでいます。今でも大型のクレーン車や何トンもあるダンプカーがひっきりなしに大学内を走っており、そのような中私達は仮設校舎などで練習に励んでおります。今年は当初クラブの活動自体、危ぶまれていましたが、六月には神戸では開くことは出来ませんでした。私達は見ていただければわかるとおり、他団とは比較にならないほどの少人数ではありますが、合唱において少人数が全て私達に不利に働くとは私達は考えていません。人数が少ないと言うことは、私達は気持ちの面でも一つになりやすいのです。また一人一人の声が聞けるほどの人数であることは、それだけ明確にハーモニーを作りだせることです。元来、男声合唱の持つ力強さの面においては、やはり見劣りはするだろうと思われそうですが、それがマイナスとして働くのではなく合唱が本来持つハーモニーや音楽的な面において私達の特性が生かされるだろうと考えます。クラブ活動自体も昨年より続けられている大きな変革により、カタチに拘わることなく活動を行い、精神的にも私達一人一人が責任感や活動に対する問題意識を持つようになり、徐々にですがクラブが方向性を持つ段階まで来たと感じます。周りを気にすることなく、私達自身の可能性を私達自身で制限することなく、これからも活動を続けていこうと思っています。このような私達が今宵のステージで甲南大学グリークラブにしか出せない音色と私達自身を表現できるよう、がんばりたいと思います。

敬 具

委員長 湯瀬 尚志

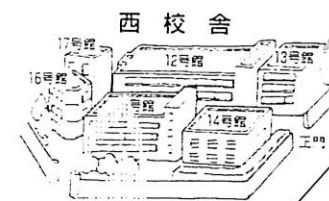


彼の白魚の様な指が、最近嬉しそうに染めた俺の茶髪をからめとった。彼が体重を俺に預けるたび、俺の熱い吐息がもれる。「髪……立てたんだね」……俺の変化に一々反応してくれるこいつが好きだ。俺は彼の生めかしい腰にあてた右手を一気に首筋に運び、唇と唇を無理やり重ねた。一瞬驚いて見開かれた瞳が悩ましげに濡れる。「もう……いつも強引なんだから」抗議する様な顔の表情はしかし怒ってはいない。その証拠にその舌はまるで淫らな軟体動物のそれだ。それを十分に味わいもせず俺はTシャツを脱ぎ捨てて。いつの間にか彼の手が俺に重ねられている。俺たちはヴァイブレーションを1つに合わせようと体の向きを変えてみた。が、それは容易ではない。ああ、彼の長いまつ毛はこんなにも魅力的だ。何かが、俺の体の中心にいる何かが天に向かってうねりつつある。俺は、いや俺たちは今限界を越えるんだ。まるで転がりつづける石の様に。

……ハッ！夢か。ごめん志帆、もうムリや。ところでニョロニョロってHやね。あんなにニョロニョロした日には僕、僕……。

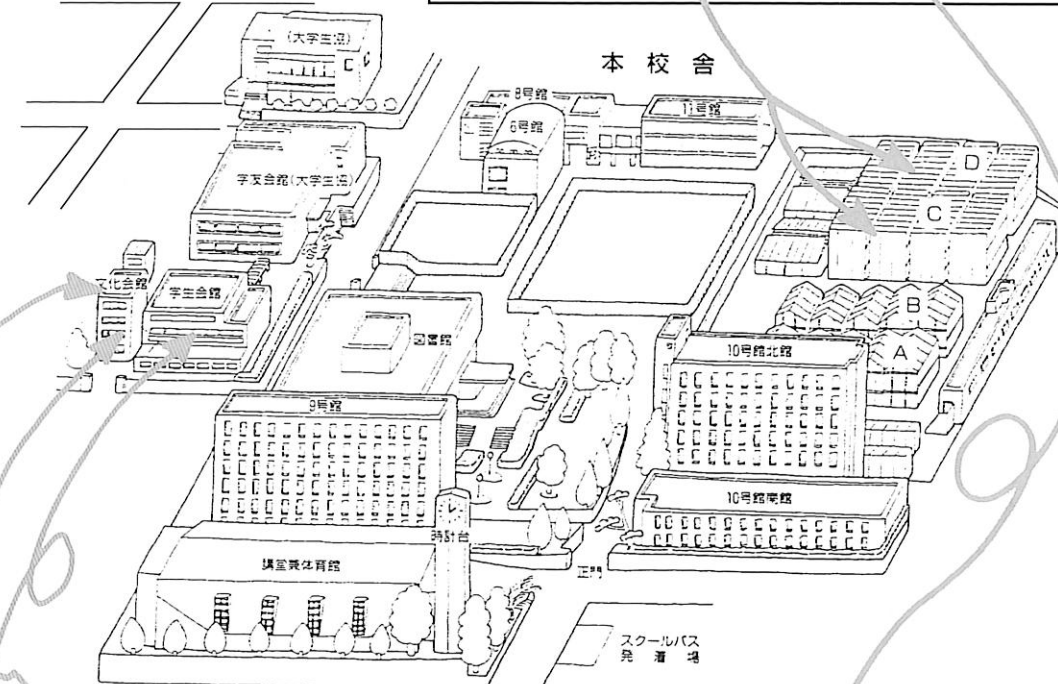
甲南学園歌

みはるかす	茅渟の海
日にひかり	雨にけむり
わかうどの	夢をさそう
甲南	この学び舎
わがみちを	すすめとの
遺訓あり	まもり活かす
わかうどの	誓い固し
甲南	この学び舎



練習は1341 (13号館4階1号室)で行い、ここがダメな日は仮設校舎C.D. (別名: サティアン)で行う。

岡本周辺で食事をする場合、腹が減っていてお金がない時(ぎょうざの王将)、一、二回生におごったり、ゆっくりとくつろぎたい時は(とんと亭)、お金があってリッチな気分になりたい、また味わいたい時(馬小屋)がベスト3である。

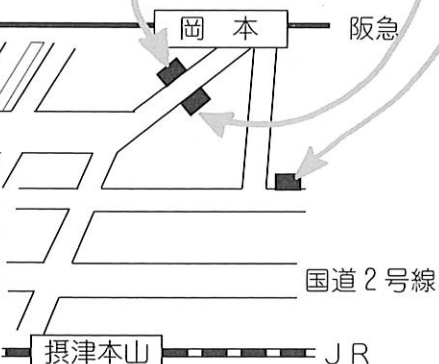


学校へ来ると部員が立ち寄るところが学生会館1階。ここは夏涼しくて冬は暖かく喫煙できるため、部室(文化会館4階)に上がるのをめんどくさがる部員のたまり場になっている。

上回生(F井、M原)がよくトランプや花札をやっており、つかまったら最後、授業に出られない。

また文化会館2階にある女声合唱団アモロージの部室、ここには1、2回生(特にF川)がよくいるところである。

暇なときや練習後に一部の部員が向かうのがJOY(ゲーセン)である。その中でもフェルナンド元伸VSアーサー理仁の対決は見ものである。その他、ステルス泰明、ザウバー博文の両名を加えた4人がゲーマー四天王と呼ばれている。

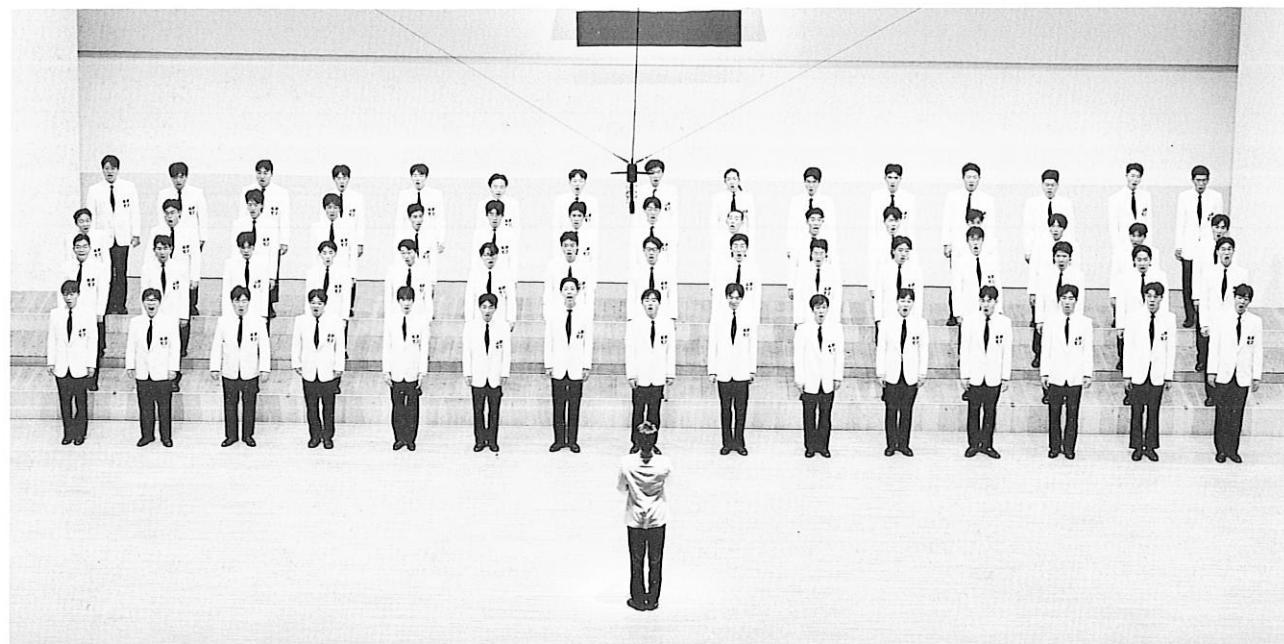


※特急の止まるようになった阪急岡本からは徒歩12分。
JR 摂津本山駅からは徒歩15分。



関西学院グリークラブ

Stage 3



皆様、こんばんわ。第3ステージをつとめます関西学院グリークラブです。我団は、1899年に「日本で最初の男声合唱団」として、神戸市郊外原田の森にて産声をあげ、今年で96歳になりました。学院の非常に恵まれた環境に加え、内外の暖かい御指導や先輩方のクラブを愛する強い気持ちに支えられ、我々は日々練習に励んでおります。

1月に起こりました震災は、我々にも例外なく様々な点において深い爪痕を残しました。しかし、改めて音楽に対する思い、生きることに対する思いを深めることにもつながり、東西四大学合唱演奏会、同関交歓演奏会、および夏期演奏旅行といった活動を終え、つい先日は、1回生の初ステージでもありますグリークラブフェスティバルを盛況のうち終えることができました。

さて、今年の六連、我々が演奏いたしますのは「七つのスペイン民謡」です。この演奏を通じて、我々のモットーでもある「メンタルハーモニー」が皆様の心に届けは幸いに存じます。熱い、あの熱いグラナダの風とともに……。



部長 川越 文夫

THE PRESIDENT

川越 文夫 1973年1月13日生まれ。現在22歳。高校在籍時より関学グリーにあこがれ、1992年関西学院入学を果たすと同時にグリークラブの門を叩いた。「入部当初は指揮者を目指していた。」と往時を述懐する彼。しかし、当時より将来の大事

と目されていた、現指揮者八木俊嗣に部員の支持が集まり、結局は部長の座に収まった。それから事あるごとに八木と意見が対立するものの、常に彼の後塵を排する日々である。

容姿・身長は勿論のこと、成績・音楽センス・運動神経に於いても川越は遠く八木に及ばず、果ては見初めた女まで八木に横取りされたい。さて流石に筆者の良心も咎めるので、川越が八木を凌駕した点も紹介する。まず体重と顔の大きさ……。また自室には足の踏み場もないほど少女マンガが溢れている。おそらくオ○ニーの数でも勝っているだろう。現在、あらゆる面で八木に超越する為、通販の『帝王学講座』に励んでいる。そのような彼を部員たちは「社長」と呼んでやっている。

最後に部員から一言、「社長、壊した急須ぐらい、弁償して下さい!」

新月旗のもとに

- 若いみどりの朝風に
鳴れ伝統の旗の風
光と競う尽きせぬ力
日に夜をつぎし精華の誇り
栄光常に我とあり
力、力、その名 関西学院 関西学院
- いざ新月の旗の下
立て歴戦のつわものら
岩立つ波音高ければこそ
八千枝の緑葉 汝等を讃う
勝利は常に共にあり
伝統 伝統 その名 関西学院 関西学院

男の歌声のひびきわたる かんせいな学生街 かんがくしゅうへん 関学周辺

阪急今津線甲東園駅の西側、甲山の山裾にキャンパスを構える関西学院大学。大学周辺には学生下宿が立ち並びエキゾチックな街並みが広がるが、文教地区に指定されているため夜は早く娯楽は少ない。また学校北側には男声の歌声が響きわたり、異様な雰囲気を楽しめる街だ。

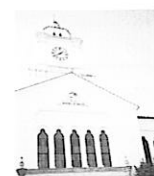
■交通 阪急今津線甲東園駅より徒歩もしくは阪急バス
■問合先 関西学院グリークラブ 観光課
TEL 0798(52)6471
FAX 0798(52)6471

かんせいがいんたいがく 関西学院大学

一八八九年キリスト教主義の教育理念の下に神戸市郊外に創立された。

関学のシンボル 時計台

関学の図書館としても使われている現関学の象徴的建物。ほかあ札帳の時計台なんかよりよっぽど立派だと思ふ。(Y丸S一郎入館料ただ8〜18時(日曜・祝日休館)無休 ①なし 地図番号①)



地図番号①

古代人の歌声も聞こえる?

関学キャンパス北西のはずれに関学古墳(俗称)がある。古墳の中はあらさすですつからかんである。また古墳前広場はグリークラブに練習場としても多用され、特にセカンドがよくパーフト練習をしているのが目撃される。 地図番号②

歌の殿堂

関西学院グリークラブホールは1971年、グリークラブOBらの援助により建てられた。この建物は一応スパニッシュ風に仕立てられた木筋コンクリート、一部二階建ての建物であり、グリークラブの活動の中心になっている。この建物は数多くの多足類生物とともに、グリークラブ部員が多数住みついている。調査によれば、ほとんどの部員が学校へくるよりもホールへくることの方が多いそうだ。(クラブがある時しか学校へこない。)



TEL 0798(52)6471 10〜23時 ①なし 地図番号③

かんがくしゅうへん たべる学食群 関西一の充実した

関学内の学食は関西一充実していると言われている。ホンマか?その中でもっとも利用されているのがBIGPAPAだ。我部員の中にもBIGPAPAのコープランチが嫌いだ。その値段(350円)ゆえにいつも食べてしまう(N野M武と愛用者がたえることがない。)

OFF TIME 神戸屋は共に喫茶店であり、部員ののどを休ませてあげようというパリの心づかいが生まれた時(無理やり生まされた時)にパーフト練習中しは利用される。三田屋は本格的なステーキハウスであるがその値段(850円)故にグリー部員はめったにいかない。 地図番号④ 新学館内

かんがくしゅうへん 関学近辺

上ヶ原文教地区に指定されているため、某K大周辺の様な華やかさはない(ローソンも0時にしまる)が、一応学生が必要としているものはそろっている。

あぞなりびくパイの音 球の音

我団マエストロが言うには学生三大遊戯はビリ・ボリ・ジャンである。このうちビリヤードのオレゴン、そしてジャン・ジャン・ジャン(夜)は0時まで人足のとだえることがない。特にジャン・ジャンは授業よりも打つ方に専念する一回生などが出沒し、グリークラブ部員にことかかない。 地図番号⑤

蹄鉄の音たからかに

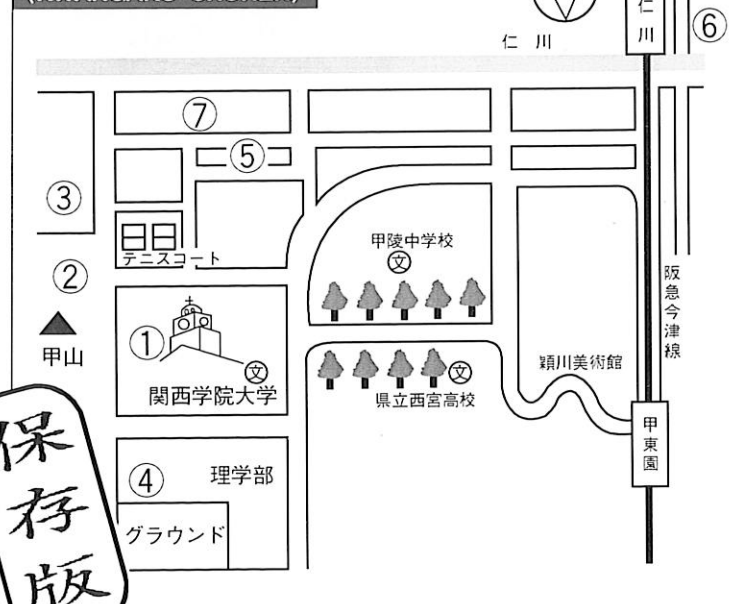
阪神競馬場は現在震災の為復旧工事中であるが12月より復興すれば、学生(含むグリー多数)の姿を見ることが出来るだろう。朝、馬券を買い、練習後結果を聞き、肩をおとす部員の姿を見る日も遠くない。 毎週土・日9:30より(開催中は8時から)入場料開催中200円 地図番号⑥

たべる部員の食欲 満ちたす!!

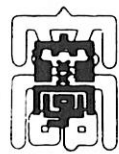
関学グリーメンの食堂と言え

ここ福井食堂。練習のある日には多くのグリーメンがここで食事をとる。この店の売上の65%はグリーメンが払っていると言われるゆえである。人気メニュー、しょうが焼(600円)スタミナ(700円) 月曜定休 地図番号⑦

関学周辺 (KWANGAKU SHUHEN)

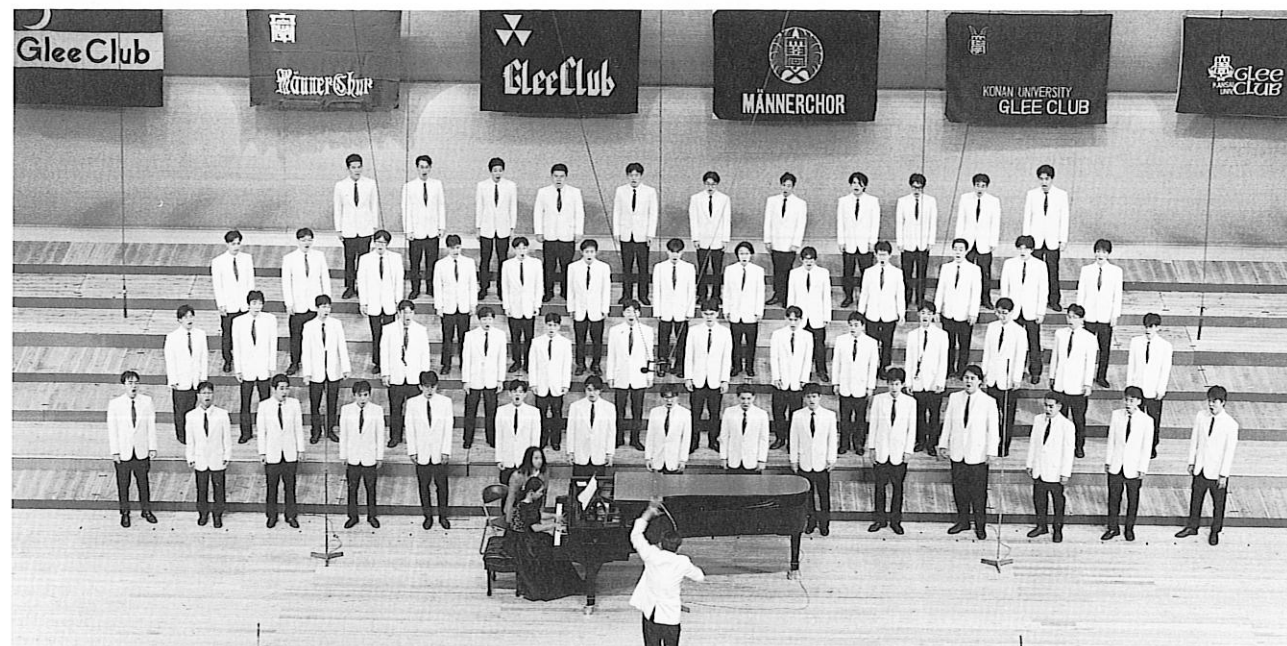


保存版



立命館大学メンネルコール

Stage 4



御来場の皆様、今晚は。今年もメンネルは五十名余りの部員を引き連れて11月3日のフェスティバルホールにやって参りました。日々の厳しい練習の成果が発揮できればと考えております。

私達の本年度の活動は、5月に行われる予定だった六連運動会は雨で中止となってしまいました。翌月の6月には第34回明立交歓演奏会、7月には武庫川女子大学コーラス部の皆様とのジョイントコンサート「歓声」、そして本日の関西六大学合唱演奏会を経ると、一年間の集大成である12月13日の第49回定期演奏会を残すのみとなり、定演に向けてまた厳しい練習がまっています。

さて今宵のステージで、私達は「ティオの夜の旅」を演奏いたします。私達にとっては難しい曲でした。と同時にやりがいもありました。この「ティオの夜の旅」を通じて、今までとは何か違うメンネルコールを感じとっていただければ幸いです。

最後になりましたが、日ごろ御指導頂いております浦山弘三先生、松村富也先生をはじめとします諸先生方、本日お越し頂いている方々に感謝の意を表しますと共に、今後とも一層の御指導、御鞭撻の程宜しくお願い申し上げます。



部長 野口 輝久

野口輝久、22才。身長142cmと小柄である。私立城北埼玉高校から一浪して立命館大学経済学部へ入学。現在はなんとか在籍しているという状態であり、除籍の日も間近である。

彼の下宿は学校から徒歩10分のところにあるワンルームマンションである。外見は非常に立派だが、部屋の中はとてつもなく汚い。洗濯は月に1度程度であり、今回の夏合宿でも着替えを1枚しかもってこなかったことからその潔癖さがうかがえる。

しかし、こんな彼も将来についてのビジョンはあるらしく、27歳で職場の女性と結婚、子供は2人で男1人ずつ、男の子だったら直衛、女の子だったら琴江と名付けられるらしい。筆者にこれらのことを熱っぽく語ってくれたのが記憶に新しい。

また彼は鉄道マニアである点にも注目したい。部屋には鉄道関係の雑誌が山積みになっており、おまけに鉄道模型、レール、新幹線の座席といったものがあるのにもおどろかされる。今度はパンタグラフを手に入れたと言っている彼。一体どこに置くのだろうか。

今回が最後の六連になってしまう彼であるが、これからは変わらず生きていってほしいものである。そして最後に彼に一言おくりたいと思う。「流れを大切に。」と。

立命館大学校歌

あかき血潮胸にみちて

若人真理の泉を汲みつ

仰げば比叡 千古のみどり

ふす目に清しや 鴨の流れの

かがみもたふとし 天の明命

見よ わが母校

立命 立命

なにげないメンネリアンの会話

症例1：鉄道

— 十月某日 部長N口宅にて —

N口：やっぱり電車に乗る瞬間はエクスタシーを感じるね。二時間くらい前から待っという誰もいないホームの空気を吸う、これがまたいいんだ。で、例えば寝台車が入って来て目の前でブシューってドアが開く。もう、なんかこの列車は俺のモノだ、なんて気がするね。

K村：Push！（擬音。表記不能。ここでは仮にこう表す）

N村：僕はディーゼル車に乗った時、ファーンでギアが一番工所に入って高速になった瞬間、カタカタという音しか聞こえない、あの静寂が好きです。あれは何とも言えませんね。それで踏み切りの音がかんかん。

K村：音だったらやっぱり切符のあのぼちんという音が……

S井：でも最近はインクが多いんでしょ。

N村：西武線は今でもパチンというか鉄というか、あれですね。

N口：駅ごとで音が違うのがええよな。特に原宿駅のはいい。形も山形とか家形とか色々あるし。

(中略)

N口：K沢はどうや。列車乗ってて喜びを感じる瞬間。

K沢：読んでいた「旅と鉄道」から目を上げて「うーん……瞬間って言っても生活の一部になっているから。関西圏はどこへ行っても最寄りの駅があるし、瞬間って言うよりも生活全体だね。

N村：やっぱり鉄道は関西の方が発達しそうですね。それは小林一三の力が大きいんです。阪急の座り心地は多分私鉄の中で最高ですね。

S井：木目模様とか、広さとか。

(中略)

N口：長いこと阪急乗り慣れてたら、音でどこ走ってるか分かるやろ。最初の高架が高架や。で、二回目の辺が茨木。

K村：ガタガタガッ！！言うたら淡路(笑)。

S井：阪急だと長岡の向こうの新幹線と並ぶ所がやっぱりいいですね。

N口：その前に在来線とも並ぶやろ。

K村：だから乗ってる方もあっちの窓もこっちの窓も見ないから忙しい。

N村：そんなん君だけや(笑)。

(中略)

K村：見えると言えば、やっぱり窓から見える風景は飽きませんね。

N口：それも各停の方がええな。特急とかだと外の風景は映像に過ぎんけど各停だとドアが開く度に人や空気が入れかわるし、降りようと思えばどこでも降りれるし……

N村：そう。だからみんな何で速い方乗らずにわざわざ鈍行に乗るのか不思議に思う人もおるやろうけど、実際は特急に乗るとより各駅停車に乗ると時間の方がはるかに短く感じられる。

K村：話は変わるけど山陰線の各駅の快速のやつなくなったんか？

N村：ああ、城崎発米子行きのな。あれはスーパーはくとか走り出したで

しょ。あれ北近畿から接続してそのまま特急線になってー。

K村：ヘッドマークがなくて蛍光灯むき出しのやつな。僕あれ二回乗った。

N村：僕も一回乗りました。で、普通列車と快速列車の身分やのに車内販売のおばちゃん来るんですわ。夏みかんが四個三百円でした。おいしかったですよ。

S井：僕、山陰線で一番正しいのは全線通ることだと思うんですよ。あれじゃないでしょ。一度来てほしいですね。京都発下関行き。

N口：鈍行では昔10K寝台ってあったな。

(中略)

N村：なくなっている言うたら、最近車内放送もどどんやめてるでしょ。あれどう思われます？

N口：あれやっぱないとなー。今年八雲に乗ってたら、車内放送で「特別急行八雲」って言ったんだよ。この「特別急行」という響きがなんとも……Ahh(又しても言葉にならない)。

N村：やっぱり特別急行って言うのは、かもめとか雷鳥とか、国鉄時代からの気韻を感じさせますね。

N口：新幹線でも東京発のひかりの音楽はええな。

K村：♪チャンチャチャチャンチャン……

N口：途中だとデンデンデンデンやからな。

K村：到着前は耳を逆立てて車内放送を聞きますよ。「休日は〇〇電車をご利用いただきまして……」とか聞こえたら「おーっ来た来た！」って気になる。京都駅はちょっとしゃべりすぎやないですか。「二番線新快速舞原行き停車駅山科、大津、草津、近江八幡……」むちゃくちゃ早い(笑)。

N村：僕は近鉄文化園育ちやから阪急の通勤特急で別料金払わんでいいのに感動したな。

K村：でも俺らって安さにこだわる割には駅弁とか高いの買うからな。

N村：そや、今度おいしかった駅弁の話しよか。ます寿司とか。

K村：浜松の二切れ千五百円の鰻とか。

K沢：(ぼそっと)……北海道の弁当も。(注)

N口：これ以上行くと電車の話から離れてしまうなあ。

N村：とりあえず私鉄は関西が一番ということで一。

N口：特急が安く乗れるのがいいな。

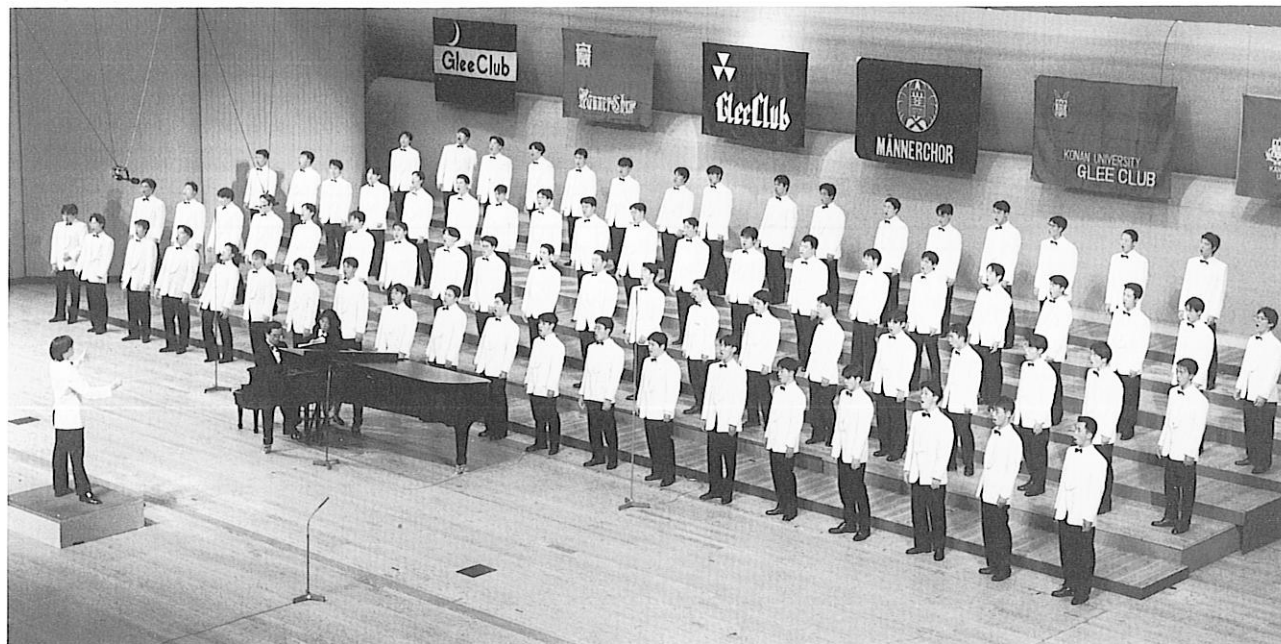
K沢：でも「特急」って名前を付けただけの快速急行もあるから……(小声でつこむ)。

……以下、えんえん話はつづく

(注)彼は北海道出身

◎同録テープ購入希望の人は佐々木までご連絡下さい。

N口(4 部長) ご存じ六連マネを経てメンネルの首領の座に登りつめた愛すべき山男。大学から連続契約を勝ち取り来年も残留が決定。今年の就職用に集めたJRのパンフをK村に奪われる。	K沢(3 サブ会計) 自称時刻表サブ。身のこなしはC3POに似ているがこちらと違って普段は無口。今回も話題が守備範囲外のローカル線中心だったため、終始沈黙の抵抗を貫いた。	K村(3 渉内) 切符は隅々まで目を通すが案譜には通さない。歌のビッチは気にしないが特急しなののビッチは気になるという本格派。切符の匂いで欲情するという特技を持つ。	N村(3 副指揮) 一度口を開いたら決して止まる事のない新快速の如き喋りとディーゼル車のような強引さで話を進める彼は、まさしく特急南紀も真っ青のスーパーデンジャラスエクспレス。	S井(1) 一回生にして参入を許された彼はメンネル鉄研期待の赤色巨星。地元神戸本線復興の報を聞き妹と涙を流して喜んだが、後で臨時ダイヤの掲示を撮っておけばと俺やんだという。
--	---	--	---	--



創部91年の伝統を誇り、「合唱界の王様」を名乗る団と言えば、そう、私達同志社グリークラブのことです。明治時代から、大正、昭和、平成と、同志社グリーの精神を受け継ぎ、上はおじいさん、おばあさん、下は幼稚園児と、さまざまな人の前で歌って参りました。今年は、2月にヨーロッパ演奏旅行を行うなど、海外にまでも出向いています。その後も、京都合唱祭や東西四大学合唱演奏会、同関交歓演奏会、御坊演奏会などを行っています。

ここまで歌える秘訣とは何か。それについては、私達同志社グリーメンの、練習に対する意欲から話が始まります。私達は、授業をサボろうが、単位を落とそうが、彼女にフラれようが、練習の時にはいつも全員がそろっています。そんな男達が集まれば、友情が生まれ(愛は生まれない)、そして、その証として独特のハーモニーが生まれるのです。

4月には私達の必殺技、「怒濤フォルティシモ」、「迫真ピアノシモ」にかかって快感を覚え、同志社グリーのルーキーとなった新入生達は、夏合宿でパワーを蓄え、今日、この関西六大学合唱演奏会で大阪初デビューとなりました。この関西六連が終わった後にも、広島演奏会、定期演奏会、全同志社メサイア演奏会などを行う予定であり、私達は、合唱界の新たな歴史の1ページを刻みつつあるのです。

それでは皆様、私達の演奏を篤と御覧あれ。



幹事長 富田 尚

静岡人の僕は、最近、驚いている。この写真の男、一見すれば前科15犯くらいにみえるこの男。この男こそが原因である。この男の周り、近ごろにわかにざわがしい。ある女子大生の間で「富田親衛隊」なるものが結成され、活動を始めたのである。親衛隊といえば、西郷輝彦、野口五郎のようなヤツにつくものだと思っていた。しかし、この富田にもついたのである。同志社グリークラブの幹事長にもなると、彼女いない歴24年の彼も、もてるのか。

親衛隊は彼のことを「富やん」と呼んでいる。トミヤン・トムヤンクン? ちゃうちゃう。とにかくだ、僕は不思議でしょうがない。「富やん」と呼ぶ彼女たちの目は♡になっているのだ。しかもその♡の目で今度、バンジージャンプデートをするというではないか。くそー。なんで僕は誘われないのだろう。ちきしょー。バンジージャンプなんて最高じゃねーかよー。

……いや、待てよ。バンジージャンプ? 彼は日頃、シブい硬派人間を演じている。その彼がよりによってバンジーを、可愛い女子大生とやるなんて、どんな悲鳴をあげるんだろう? ここで絶対ボロが出るはずだ。

彼はTenorだ。Tenorの高い声で「ウッキーウッキーウッキー」とこだますおたけび。親衛隊、ア然。シブイ、しぶすぎる。彼女たちがどう思うか知らんが、僕にはひと皮むけて大人になった富やんの勇姿が目につく。親衛隊よさば、泣くトミヤン。君には明日がある。フレフレ富やん。頑張れ、頑張れトミヤン。そんな富やんがみんな大好きだ。富やん男一人旅、まだまだ続く。

DOSHISHA COLLEGE SONG

One purpose Doshisha, thy name
Doth signify one lofty aim.
To train thy sons in heart and hand
To live for God and Native Land.
Dear Alma Mater sons of thine
Shall be as branches to the vine.
Tho' through the world we wander
far and wide.
Still in our hearts thy precepts
shall abide.

今出川 これをなら このお店

同志社大学
(新町キャンパス)
練習場

新町通り



Duke

ここは「とんかつ弁当」¥700がお勧め。ここは長時間いても全然大丈夫。だから、くっちゃべりたい時や、クラブのマネージついでの話し合いなど、真面目な雰囲気のあるときに用いられる。

馬馬虎虎

「マーマーフーフー」と読む。このお店のお勧めは「ジャンボとんかつ定食」¥500。その他の定食も500~600円前後で非常にお得。ここにくるのは普通のグリーメンか、それとも腹一杯食べたい人である。

ニュー北京

中華料理屋。お店の雰囲気が暗いためか、ここは落ち込んだときや、嫌なことがあったときにたまる。また、ここは反(検閲)同盟の集会所でもある。ここで過去に何人「クラブやめたる。」と発言したのだろうか。ちなみにここは、「回鍋肉丼」¥650がお勧め。その他、定食もいろいろあってなかなかいい。

養老の瀧

チェーンの居酒屋。ここは、クラブの忘年会や新年会など、みんなして飲むときに使われる。でも、クラブ全員で行くと、お店一杯になってしまうので、ついそのまま歌い始めてしまう。飲む、食う、歌うの三拍子揃ったお店。

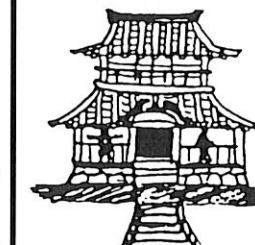
室町幕府
のあと

今出川通り

天下一品

略して「天一」。ここはラーメン屋。もはや語るべきことはないだろう。あのこってり味に取り憑かれてしまい、腹を下した人は何人居るのだろう。ここは、京都にきた1年生に「天一」の洗礼を受けさせるために、また、先輩顔して後輩に奢るときなどにいく。

烏丸通り



相国寺

同志社大学
(今出川キャンパス)



地下鉄今出川駅

京都御所





ご来場の皆様こんばんは。私達は、今年も個性派揃いのルーキー30名近くを獲得に成功し、総勢100名で、ここフェスティバルホールに青い波を立てるため参上いたしました。合唱界のオリックス・ブルーウェーブこと、大阪大学男声合唱団です。

これほどの人数が集まると、皆様は、「まとまりがないんちゃうの」とお思いになるかもしれませんが、一旦、歌という白球を手にし、青ブレザーというユニフォームを身につければ、ハーモニーという走者がホールというグラウンドをかけ回ります。その例が、今年7月の岡山大学コールロタスの仲間達とのJoint・Concertといえるでしょう。

今宵のステージで、私達は「御誦」を演奏いたしますが、八幡マジックによって、再び青い波を皆様にお見せすることをお約束いたします。

最後になりましたが、技術顧問の浅井敬壹先生、ヴォイストレーナーの北村敏則先生をはじめ、お世話になりました諸先生方に深く感謝するとともに、今後とも一層皆様の御指導御鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



運営委員長 曾我部義久

ヨシヒサ君はよく寝る。10回に10回の割合で、寝過ぎて練習に遅刻する。さらに合宿では、練習中も寝る。団員からの非難や嘲笑を浴びようが、一向に構う様子は無い、良く言えばアホ、悪く言えばドアホである。どんなピンチにも動じない彼だが、せめて単位や家族計画くらいは気にしてほしいものだ。

そんなヨシヒサ君も、何の因果か運営委員長になってしまった。ただ、プロボロとした腹の肉のみが、彼のボスとしての威厳を保っている。そこには、入団当時の、田舎者ナルシストとしての誇りは微塵もない。しかし、妙にスタイルに固執するところは、いまだ変わらない。最近も、突然、日経新聞を定期購読しはじめ、資源と金の無駄遣いに一役買うことになった。とはいっても、その無駄な消費により、はからずも景気回復に貢献したのは、さすが経済学部といったところか。ちなみに、彼は経済3S(ケイザイサンエス……4年生S我部・S員・S田で構成される)の一員であり、経済学部の秀逸なるアホとして、他の追随を許さない。

いずれにせよ、ヨシヒサ君は阪大男声史上、異色の運営委員長といえよう。彼が歴代の運営委員長に対し誇れるところは、アホであること、この一点のみだ。そんなヨシヒサ君ですが、今後も皆様の暖かい御指導、御鞭撻、御説教、御威嚇、御寄付金など賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

大阪大学学生歌

生駒の嶺に	朝影さして
緑風さやけき	銀杏の木蔭
若きいのちは	力あふれて
歌ぞおほらに	望みはるけし
叡智の泉	掬みてつきせず
ほこりあり	真理の岡辺

阪大坂危険地帯案内

概要：阪大坂について

旅人(学生)が目的地(学校)へ向かうときに登らなければならない試練の坂。非常に長く険しい坂であるため、強い精神と強靱な肉体を持つものだけが目的地(学校)へたどり着くことができる。それに加えて、その途中には様々な魔の手(宗○団体)が待ち受けている。そのため、過去多くの若者が旅(学業)を挫折しここに骨を埋めることになった。



スポット2：池

平時には水鳥も見られるなど一見穏やかなこの池は、マッドサイエンティストの狩猟場となっており、不用意に立ち入ったものは二度とその姿を見ることができない。夜になると、哀れな犠牲者の断末魔の悲鳴が当たり一帯に鳴り響く。



スポット1：駐輪場

ここは盗賊が頻出する地であり、ここで一晩を過ごした旅人(バイク・自転車)は、襲撃を受け、五体満足でこの地を出ることはできない。



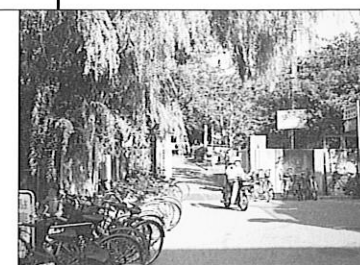
スポット4：商業地帯

ここでは旅人(学生)が当て込んだ商店が立ち並んでいるが、さまざまな理由によって寂れ、半ばスラム化している。慣れないうちは、慣れたものの手引きがないと危険である。



スポット3：医療短大

この地に関してはまだ未解明の点が多く、今後の研究が待たれている。ただ、ここに入り込んだものの生還率が低い。ため、異次元へと通じているとのうわさも上がっている。



定期演奏会のお知らせ



第22回 大谷女子大学合唱団定期演奏会

- I 映画名曲集 - サウンド・オブ・ミュージック 指揮/大前 礼加 伴奏/村上 睦人
 II OG合同ステージ 指揮/斉藤 正義 伴奏/物種 純子
 III 「アニメのあのメロディー」 編集・指揮・伴奏/早野柳三郎
 IV 女声合唱組曲「IN TERRA PAX」 作曲/荻久保和明 指揮/藤窪奈々絵 伴奏/村上 睦人

1995年12月2日(土) 開場18:00 開演18:30
 河内長野市立文化会館ラブリーホール大ホール

<連絡先> 實重未紀子 0721-25-9946



奈良女子大学音楽部 第31回定期演奏会

- 第1ステージ 女声合唱とピアノのための「四つの浪漫」 指揮/村上香代子 ピアノ/萩原 朗子
 第2ステージ Rose is a rose. ~ 真実はただ1つ 指揮/諏訪 寿子 ピアノ/寺崎 千理
 第3ステージ Gabriel Thomas 「Deuxième messe」 指揮/山本壽太郎 ピアノ/萩原 朗子
 フルート/福田 七枝 ヴァイオリン/岩谷 悠子 チェロ/安野 英之
 第4ステージ アボリネールの詩による四つの無伴奏小品集「白鳥」 指揮/村上香代子

1995年12月3日(日) 開場14:00 開演14:30
 奈良女子大学講堂 入場無料

<連絡先> 門川 真智 06-371-9040



神戸女子大学コーラス部 第23回定期演奏会

女声合唱とピアノのための組曲 こころの風土記 詩/峯 陽 曲/小林 秀雄
 客演指揮/斉田 好男 客演ピアノ/榎田 浩美
 他4ステージ

1995年12月7日(木) 開場18:00 開演18:30
 神戸文化大ホール

<連絡先> 判野奈緒子 (078) 751-9077 / 児玉アツ子 (0729) 39-7765



甲南女子大学コーラス部 第32回定期演奏会

「TRES VIRGINES CARELAE」 指揮/翼 泰子
 「だんじ ゆかり ゆしや」 指揮/団 友美子
 「マンモスの墓」 指揮/洲脇 光一
 「Magnificat」 など 指揮/松原 千振

1995年12月16日(土) 開場16:00 開演17:00
 学内芦原講堂 入場無料

<連絡先> 金崎 百恵 078-843-2133

定期演奏会のお知らせ



ノートルダム女子大学女声合唱団 第30回定期演奏会

- I COME YE SONS OF ART 指揮/ジャン・メルオー神父 ピアノ/長田 育忠
 II 女声合唱とピアノのための「一瞬の幻影」より・JOHN RUTTER 作品集
 指揮/勝間 恵子 ピアノ/藤井 由美
 III 「Aladdin」 指揮/宮崎のり子 ピアノ/藤井 由美
 IV 女声合唱のための「三つの抒情」 指揮/山本 直子 ピアノ/藤井 由美

1995年12月17日(日) 開場14:00 開演14:30
 ノートルダム女子大学内ユニソン会館

<連絡先> 柏田 祐里 075-255-1031



大阪樟蔭女子大学コーラス部 第32回定期演奏会

- I 少女のいる画集 指揮/草田 知
 II あわていきもののうた 指揮/草田 知
 III 企画ステージ 南太平洋 指揮/富岡 健

1996年1月18日(木)
 尼崎市総合文化センター アルカイクホール

<連絡先> 田上裕美子 0720-93-8530



武庫川女子大学コーラス部 第28回定期演奏会

- I 「天使にラブソングを」より 指揮/守田真紀子 伴奏/榎井 美穂・角 知子
 II 「2つのホルンとハープの伴奏による女声合唱のための4つの歌」他 指揮/畑 儀文
 III 女声合唱組曲「心の四季」 指揮/安藤 嘉子 伴奏/吉沢 幸子
 IV 無伴奏女声合唱のための「風の囁き」
 I. みづいろの風よ、他 指揮/平田 勝

1996年1月25日(木) 開場17:30 開演18:00
 尼崎市総合文化センター アルカイクホール

<連絡先> 江見 香里 (0798) 49-0843



神戸女学院大学コーラス部 第36回定期演奏会

1996年3月1日(金)
 開場17:30 開演18:00

尼崎市総合文化センター
 アルカイクホール

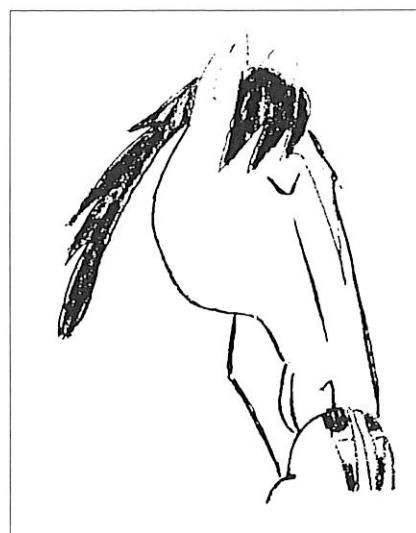
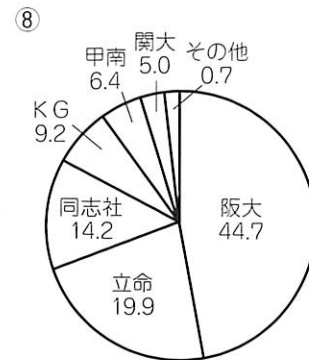
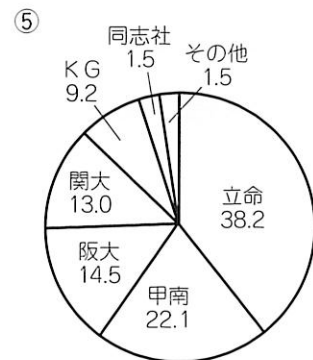
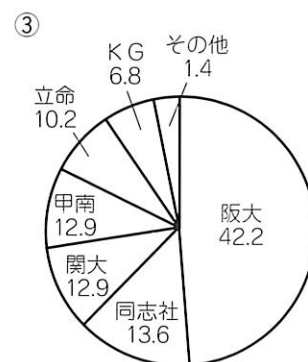
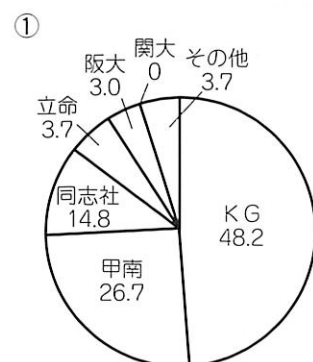
<連絡先> 阪口 愛子 0722-92-0283



みなさま、こんばんは。このページは“ロクレン”を知らないとおっしゃる方や、もっと知りたいとおっしゃる方のためのページです。“ロクレン”の各団はいったいどのように思われているのか、女子大生のみなさまに意識調査してみた。



- ① お金もちの多そうな団
- ② 貧乏人の多そうな団
- ③ 留年する人多そうな団
- ④ 練習が厳しそうな団
- ⑤ 練習が楽そうな団
- ⑥ 愛クラブ心がありそうな団
- ⑦ 入りたい団
- ⑧ オタクが多そうな団
- ⑨ ソフトボールが強そうな団



御協力くださった
神戸女学院大学コーラス部
大阪樟蔭女子大学コーラス部
武庫川女子大学コーラス部
神戸女子大学コーラス部
甲南女子大学コーラス部
ノートルダム女子大学女声合唱団
のみなさま、ありがとうございました。

アンケートの結果、次のような調査書がとどいた。

関西大学グリークラブの場合



誰一人として、“お金もちの多そうな団”に名を挙げなかったわりには、好印象をもたれている。人気はやたらと高い。ひとえに運動会が中止になったからであろう。
(注目度★★★★★)

甲南大学グリークラブの場合



大学のイメージか、“お金もちが多そうな団”の2位は、甲南グリーメンは誰も認めていない。(おまえら早う滞納金払え！ by 会計) それ以外は“可もなく不可もなく”といった感じ。はっきり言って印象がうすい。
(注目度★★)

関西学院グリークラブの場合



これも大学のイメージか、“お金もちの多そうな団”が1位である。しかし、それ以外では、ほとんど“鳴かず飛ばず”といった感がある。どうした関学ががんばれ関学。
(注目度★★★★)

立命館大学メンネルコールの場合



まともなものは“留年する人多そうな団”の5位くらい。どうしても悪いイメージが先行しまくっている。どうして毎年こうなるのか。いったい何に原因があるのだろうか。さっぱりわからない。
(注目度★★)

同志社グリークラブの場合



どの項目をとっても好印象と文句のつけようがない。どうしてそんなにもてるのか教えてほしいものである。
(注目度★★★★★)

大阪大学男声合唱団の場合



1位か6位という極端な評価が目立つ。“貧乏人”で“オタク”で“留年する人多そう”の1位は別のイミで注目されている(「確かにそうだけど…」)しかし、女子大のみなさんはいささか正直すぎるようである。(注目度★★★★)

頑張れ、関大グリー！

私たちは、歌う・歌わないにかかわらずに、音楽を愛するという共通のハートで結びついています。過去を回顧する同窓会集団ではなく、未来を見つめた同好会集団として活動しています。その源は、やはり現役時代から培われた「音楽を愛する」という気持ちです。

あ の 時 代 に タイム スリッ プ、 世 代 を 越 え て 大 集 合 !

関西大学グリークラブOB会創立20周年記念

「ミュージックパーティー」

1996年3月3日(日)午後から／森之宮ピロティ小ホール

関西大学グリークラブOB会

六連大運動会 雨で中止！



雨で中止が決定し、六連マネヤケクソのUNO大会

5月14日に予定されていた六連大運動会は、残念ながら雨で中止になりました。思えば、マネージャーが現地に到着した時のツバメの低空飛行も、暴走族がグラウンドに入ってきたことも、マネージャーの一人が、高校生に間違えられて補導されたことも、全部ゼーんぶ、午前4時に降り始めた雨の序曲にしかすぎなかった。我々のために弁当をつくってくださった応援女子大のみなさま、打倒K大を掲げて、仮装に大金をつぎこんだR命の団員をはじめとする各大学の団員のみなさま、本当にごめんなさい。この責任はそれぞれの六連マネが各大学の形式でとったと思いますので、今回はお許しください。

第2回ソフトボール大会

1995年8月25日に行われた六連ソフトボール大会。今年は6団が全てそろって初の六連ソフトボール大会となった。女子大アンケートでは、関大グリーがダントツの一番人気。反面、昨年の覇者、同志社グリーはなぜか最低人気（35ページ参照）。はたして結果は…

1,2回戦ともコールドゲームで勝ってきた、野球部出身者が4人もいた関大と、1回戦は同点で時間切れになり、ジャンケンで勝ち、2回戦は接戦の末、勝ち上がった甲南とで決勝が行われた。



関大猛打爆発

1回の表に甲南は1点を取り、ウラの関大の攻撃を0点におさえ、2回の表に2点を入れて、「甲南の楽勝か？」と思えた。が、甲南は接戦で勝ち上がったつかれから、2回のウラ、1アウトをとった後に満塁とされ、8番バッターに走者一掃のツーベースヒットをうたれ、アッサリ同点とされた。3回からは関大の猛打がバクハツし、2点、4点、0点、10点と得点を重ねていった。一方甲南の方は、3回以降0点におさえられ、最終回に3点とるのがやっとで、終わってみれば19対6で関大の圧勝だった。

今年で第2回をむかえたこの企画も、演奏会、運動会と共につづいていくことを、心から祈っています。

さて、このソフトボール大会は、マネージャーの心配をヨソにして、ケガ人が多く出ます。昨年は1名、今年は2名とケガ人の数で第何回かわかるというようにならないように来年以降はケガ人が出ないように、そして、みんなで楽しくプレーできるようにたくさんの方が参加していただけるように、来年度のマネージャーに託したいと思います。最後に参加されたみなさまへ、おつかれさまでした。



おつかれさまでした

Rokuren Monthly News

NOVEMBER



1994年11月3日。第21回の演奏会が無事終了した。「来年も成功させるぞ!」と心に固く誓った。六連マネたちだった。

DECEMBER

六連の4大行事の1つ、忘年会がある。内容は、次期六連マネが、チーフである3回生の六連マネ、そのまたチーフである4回生の元六連マネのために、各応援女子大の元渉外、現渉外、次期渉外を集めて、飲み会をするものである。別名、「3大コンパ」という。はっきり言って、これはチーフのわがままである。というわけで、次期六連マネは、今年も忘年会をやるように！



JANUARY



1月17日、あの悪夢が襲った。当時、六連マネは3人が兵庫県に住んでいて、1人が豊中に住んでいた。ある者は連絡がとれなかったり、ある者は帰省してしまい、ある者はケガをしたり……。「今年は演奏会ができないのでは……」と危惧したこともありましたが、どうにか今日の日を迎えることができました。今日の演奏会が被災された方の心に残る演奏であれば幸いです。

MAY



5月14日曜日、天気は雨。全国1億2千万人の人たちが注目していた六連運動会は残念ながら中止となった。しかし、これを不服と

した群集が暴挙し、梅田の町はロス暴動のごとく恐怖に満ちあふれた。ある場所では、監禁された六連マネの断髪式が執行され、またある場所では、A原S晃のXデー間近ということで、オウム服を着た男が出現した。ああ恐しや、恐しや。

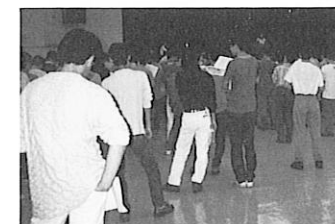
AUGUST

8月25日、第2回六連ソフトボール大会が開催された。ケガ人、病人の続出の中、見事栄冠に輝いたのは、女子大生アンケート（35P



参照)で圧倒的支持を得た関西大学グリークラブであった。しかし、この行事、六連の4大行事の1つであるのに参加者が少ない。みなさん、参加してね。

OCTOBER



合同練習も10月14日から始まり、「もうすぐ演奏会だ!」という気分になったころではないでしょうか。「あと少しでゴールでき

る。あとひとふんばりだ!」といった時期じゃないでしょうか？

NOVEMBER

ついに来ました。さて何が出るでしょうか？それは、みてのおたのしみ。



Member

関西大学 グリークラブ

TOP TENOR

北井 俊之(経 4)
河野 強(工 4)
嵩本 恭士(工 4)
寺田 佳弘(経 4)
池野 泰行(商 3)
酒井 幸平(商 3)
成澤 忠彦(経 3)
西村 憲一(文 3)
平原 竜一(工 3)
相川 洋一(社 2)
清水 十義(法 2)
王 文宏(文 1)
大村 高志(工 1)
大山 久光(法 1)
永坂 努(社 1)

SECOND TENOR

勝尾 盛宜(文 4)
野原 康志(経 4)
山中 芳崇(商 4)
尾関 隆之(文 3)
鈴木 夏来(文 3)
藤平 武巳(商 3)
村木 武守(法 3)
小島 大助(経 2)
三科 将晃(経 2)
魚見 亮介(文 1)
金田 武士(文 1)

BARITONE

出井社一郎(文 4)
角田 敦史(法 4)
中井 亮太(経 4)
中田 光彦(経 4)
森 研二(社 4)
山方 太郎(経 4)
清水 岳行(社 3)
長島 孝志(文 3)
長谷川 正行(商 3)
藤巻 昌也(商 3)
白崎 雄司(社 2)
南條 和之(工 1)
西川 智博(工 1)
服部 慶介(商 1)
山岸 基哉(社 1)

BASS

近藤 雅路(工 4)
鈴木 貴裕(社 4)
高橋 秀人(文 4)
長島 均(工 4)
芳野 文典(文 4)
竹内 寛(文 3)
平岡 寛(社 3)
平山 篤史(文 3)
井口 史郎(社 2)
片山 寛之(商 2)
赤塚 一聡(文 1)
梅田 憲一(商 1)
鎌谷 俊彦(工 1)
吉田 幸生(工 1)

甲南大学 グリークラブ

TOP TENOR

国松 雅治(経済4)
栗田潤二郎(文 4)
依藤 嘉久(経済4)
長谷川 暢(理 3)
八木 理仁(経済3)
古川 正也(経済2)
宮田 敦史(法 1)

SECOND TENOR

高宮 元(経営4)
福井 基之(理 4)
寺田 忠正(文 3)
中野 正之(文 3)
中西 孝典(理 1)

BARITONE

岸見 貴志(法 4)
小林 次良(経営4)
三原 吉史(理 4)
湯瀬 尚志(経営4)
中本 敬太(経済2)
相原 寛(理 1)
天野 裕介(経営1)

BASS

河盛 泰明(文 4)
阪部 元伸(経営4)
山本 将慈(理 4)
谷川 喜一(経済2)
服部 泰宏(理 2)
信安 博文(理 1)

関西学院 グリークラブ

TOP TENOR

竹本 大祐(法 4)
川越 文夫(文 4)
山崎 忠大(法 4)
中谷 克己(商 4)
大村 武志(文 4)
薮野 雅之(経 4)
金岡 弘治(法 3)
門田 光生(商 3)
山元 栄治(商 3)
倉本 典明(法 3)
高須賀史郎(文 2)
寺尾 高明(文 2)
長田 篤(経 1)
水本 啓策(経 1)
田口 貴裕(法 1)
野人良太郎(法 1)
竹島 章(文 1)

SECOND TENOR

山本 寿(文 4)
織田 晃嘉(文 4)
夏池 康行(経 4)
河村 祐吾(経 4)
平松 宏茂(文 3)
岩本 浩昭(社 3)
吉岡 裕記(文 3)
阿部 省二(商 2)
平田誠一郎(法 2)
森本 弘史(商 2)
赤堀 琢也(経 1)
森本 隆男(文 1)
井川 陽(経 1)
野田 真吾(経 1)
高井 道弘(経 1)

BARITONE

梶 勤(商 4)
八木 一夫(文 4)
猪熊 兼樹(文 4)
八木 俊嗣(法 4)
角野 義寛(商 3)
田中 秀樹(経 3)
納 亜幾人(理 3)
石田 賢司(理 2)
小口 真吾(経 2)
国友 宏樹(経 2)
五十嵐伸尚(商 1)
辻 伸高(経 1)

BASS

吉田 修吾(文 4)
塚崎 拓也(文 4)
田中 稔浩(法 4)
中野 将武(文 3)
吉丸慧一郎(文 3)
藤井 聡(商 2)
松波 一誉(文 2)
浜田 透(経 2)
大下 太郎(商 2)
山本健一郎(法 1)
池上 貴弘(文 1)
矢橋 洋(社 1)
山根 義雄(社 1)

立命館大学 メンネルコール

TOP TENOR

赤木 潤一(経済4)
小松 弘和(経済4)
下野 慎吾(経済4)
奈良 顕一(経済4)
野口 輝久(経済4)
樋口 宗弘(経済4)
入江 拓郎(経営3)
金沢 大資(産社3)
西出 芳人(文 3)
野中 光彦(文 3)
小川 浩嗣(産社1)
小林 信行(法 1)
林 剛史(経済1)
渡辺 聡司(産社1)

SECOND TENOR

塚原由紀夫(経済4)
島 康之(理工4)
浅野 章仁(経営3)
関口 郁生(法 3)
牧 耕治(経営3)
山中 勇人(経済3)
大橋 哲(法 2)
今村 昌弘(経営1)
黒沢 郁夫(法 1)

BARITONE

高橋 直樹(経済4)
長尾 朋彰(国関4)
山浦 義博(経済4)
河村 晃(産社3)
古閑 丈朗(理工3)
平郷 浩士(産社3)
前橋 誠也(文 3)
小田垣完一(産社2)
楠井 清文(産社2)
宮脇 康博(産社1)

BASS

木村富士尾(文 4)
佐々木 晃(経営3)
杉山 博一(文 3)
高田 真才(経済3)
寺尾 裕昭(法 3)
西崎 士朗(経営3)
野村 慶人(産社3)
堀江 弘康(産社3)
前川 幸康(経営3)
飯野 洋司(法 1)
榎本 亨(法 1)
小笠原匡人(経営1)
酒井謙太郎(産社1)
田仲 史明(法 1)
西村 友良(経済1)
堀川 剛司(経済1)

同志社 グリークラブ

TOP TENOR

梶原 亮(神 4)
久堀 太士(経 4)
角 由久(商 4)
池永 洋介(文 3)
長森 太郎(文 3)
中山 聡(経 3)
矢野 貴久(経 3)
小林 香太(経 2)
黒瀬 誠(商 2)
松井 和雄(経 2)
坂本 和之(経 2)
山崎 仁(文 2)
早川 繁彦(法 1)
伊賀上友紀(文 1)
加藤 一郎(経 1)
岸田 輝哉(工 1)
古賀 竹虎(文 1)
山口 隆介(文 1)
山下 嘉郎(法 1)

SECOND TENOR

平谷 有祐(工 4)
園田 誠(工 4)
高津 智宏(工 4)
富田 尚(経 4)
川口 裕之(工 3)
立原 太(文 3)
田栗 雅晴(工 3)
畑 克延(文 2)
三由 直樹(商 2)
中村 誠司(法 2)
岡田平八郎(文 2)
浅川 治之(法 1)
藤田 威夫(文 1)
池淵 正樹(法 1)
尾家健太郎(経 1)
社本 吉康(法 1)
辰巳 尋思(文 1)

BARITONE

福栄 貴史(工 4)
福原 敦士(法 4)
上野 大介(経 4)
宇都 康之(商 4)
本多 慎司(商 3)
御堂 甚昌(工 3)
水野 武司(法 3)
坂田 善弘(商 3)
関 安記臣(法 3)
安池 尚志(経 3)
角谷 武志(法 2)
西田 啓(商 2)
都築 洋(商 2)
米山 博哲(神 2)
川瀬 佳孝(経 1)
村上 隆明(法 1)
嶋田 和晃(工 1)

BASS

平山 直之(経 4)
佐藤 利宏(工 4)
浦川 和弘(経 4)
山田 正樹(工 4)
藤井 啓介(商 3)
広瀬 圭一(工 3)
中谷 統久(法 3)
田中 幹人(商 3)
山元 進(文 3)
山名 直明(神 3)
入江 隆生(経 2)
河合 真人(法 2)
松田 心(文 2)
森田 大介(商 2)
豊田 明朗(文 2)
吉岡 康典(経 2)
石井 隆昭(経 1)
森 雅章(法 1)
中村 慎吾(法 1)
矢倉 聡明(経 1)

大阪大学 男声合唱団

TOP TENOR

菊岡 大輔(人 4)
武田 淳(法 4)
畑 憲史(工 4)
廣内 健人(文 4)
宇田 徳喜(工 3)
大倉 雅司(法 3)
加藤 浩大(工 3)
直井 重樹(基 3)
古宮 知宏(経 3)
山岸 正幸(基 3)
合田 博志(工 2)
島崎 泰二(工 2)
徳永 洋治(工 2)
泊 克昌(基 2)
中川 知哉(経 2)
山崎祥 洋平(理 1)
熊井 孝夫(工 1)
城 尚彦(理 1)
末村 尚彦(理 1)

SECOND TENOR

河上 敬介(人 4)
合田 慎一(工 4)
白木 成拓(理 4)
城田 隆仁(経 4)
田中 克成(法 4)
古川 敏之(文 4)
新井宏一郎(理 3)
池田 修造(工 3)
内橋 隆行(歯 3)
川崎 明浩(経 3)
瀬川 覚(理 3)
田中 鐘信(理 3)
深澤 景吾(理 3)
脇田 昌幸(基 3)
許斐 直人(工 2)
長森 正暁(理 2)
野津 真弘(法 2)
水間 聖人(基 2)
本松慎一郎(工 2)
猪飼進一郎(工 1)
石原 洋祐(経 1)
伊藤 哲(基 1)
越智 直哉(工 1)
田村 佳央(工 1)
鳥越 隆史(経 1)
服部 猛(基 1)
山本淳一郎(法 1)

BARITONE

越智 保宏(人 4)
正山 誠(経 4)
曾我部義久(経 4)
田中 信裕(経 4)
中間 智亮(法 4)
福永 達也(法 4)
水本 淳也(基 4)
山本 太三(工 4)
八幡 宏志(文 4)
岩城 泰(薬 3)
奥田 健二(理 3)
角谷 英史(経 3)
中野 史朗(基 3)
藤野 修史(経 3)
宮武 進吾(人 3)
安部 淳一(工 2)
有本 智一(工 2)
黒岩 大(基 2)
西山 健次(工 2)
日高 聡(理 2)
藤田 雅司(経 2)
前田 錦吾(基 2)
外田 寛之(法 2)
松村 裕樹(法 2)
山田英一郎(工 2)
稲垣 肇(基 1)
岡田 康明(理 1)
梶原 啓介(工 1)
木内 崇裕(理 1)
牧田 康夫(文 1)
松本 慶太(文 1)

BASS

浅井 浩(人 4)
稲田 吾郎(経 4)
今泉 聡介(人 4)
新貝 裕之(経 4)
田中 俊明(経 4)
榊井 謙一(文 4)
青木慎一郎(経 3)
市原 武志(工 3)
岩道 牧雄(人 3)
小川 倫洋(薬 3)
梶 光男(基 3)
鎌田 和人(薬 3)
北岡 裕章(法 3)
白石 和範(法 3)
神野 雅彦(理 3)
松田 佳久(法 3)
松村 尚志(経 3)
風間 俊(工 2)
榎田 幹(理 2)
多田 直広(法 2)
松田 直之(工 2)
渡辺 智也(工 2)
相川 尚徳(理 1)
久保 祐明(経 1)
武智 尚教(工 1)
永井 尚弘(理 1)
松本 充弘(理 1)
宮沢 晃(工 1)

編集後記

本日は第22回関西六大学合唱演奏会にお越し頂き、ありがとうございました。

今年は阪神・淡路大震災の影響により、当初はマネージャー間のミーティングもできない状態でした。そのため、六大学の活動も、例年と比べるとかなり遅れてしまいました。しかし、このような困難な時だからこそ、人々に感動を与える歌の本質をみつめ、演奏会に来ていただいた一人一人に「楽しんでもらうことである」と考え、マネージャー一同全力で取り組んで参りました。

この演奏会が皆様の心に少しでも残りましたら幸いです。また、さらなる関西六大学合唱連盟の発展を心より願います。

最後になりましたが、本日の演奏会開催にあたり御尽力くださいました諸先生方、広告主の皆様、お忙しい中、快く原稿をお寄せ下さいました皆様方、パンフレット、チラシ等の製作にあたり、親身になって相談にのって下さいましたセントウェル印刷の中井様、そして何より本日御来場下さいましたすべての皆様に対し、厚く御礼申し上げます。今後とも、関西六大学合唱連盟に御指導、御鞭撻のほど宜しくお願い申し上げます。



関西六大学合唱連盟常任委員

関西大学グリークラブ	池野 泰行 (編集)
甲南大学グリークラブ	寺田 忠正 (編集)
関西学院グリークラブ	平松 宏茂 (ステージ)
立命館大学メンネルコール	佐々木 晃 (幹事)
同志社グリークラブ	長森 太郎 (ステージ)
大阪大学男声合唱団	松田 佳久 (会計)

第23回演奏会実行委員

関西大学グリークラブ	相川 洋一
甲南大学グリークラブ	中本 敬太
関西学院グリークラブ	高須賀史郎
立命館大学メンネルコール	小田垣完一
同志社グリークラブ	吉岡 康典
大阪大学男声合唱団	風間 俊

PLANNING
PRINTING

セントウェル印刷株式会社

●〒541 大阪市中央区久太郎町1-6-2 TEL. 06-261-8640

演奏会のお知らせ

第49回 立命館大学メンネルコール定期演奏会

1995年12月13日(水) ザ・シンフォニーホール 開場17:30 開演18:30

- 1 男声合唱組曲「若しもの星に」 作詩/百田治 作曲/多田武彦 指揮/小松弘和
- 2 Musical「The Student Prince」 作曲/Sigmund Romberg 編曲/福永陽一郎 指揮/浦山弘三 伴奏/藤澤篤子
- 3 男声合唱組曲「ティオの夜の旅」 作詩/池澤夏樹 作曲/木下牧子 指揮/小松弘和 伴奏/上野順子
- 4 男声合唱組曲「水のいのち」 作詩/高野喜久雄 作曲/高田三郎 指揮/浦山弘三 伴奏/藤澤篤子

<連絡先>浅野章仁 06-694-7520

第37回 関西大学グリークラブ定期演奏会

1995年12月15日(金) フェスティバルホール 開場17:30 開演18:30

- I 『夢の肖像』より 編曲/須田和宏 指揮/山方太郎
- II MISSA "TOTA PULCHRA ES" 作曲/CL. de Sermisy 客演指揮/岩城恵一
- III 男声合唱組曲「方舟」 作詩/大岡 信 作曲/木下牧子 客演指揮/本山秀毅 ピアノ/石原香央里
- IV 男声合唱組曲「蛙」 作詩/草野心平 作曲/多田武彦 指揮/山方太郎

<連絡先>清水岳行 06-821-2041 / 西村憲一 06-389-1883

第91回 同志社グリークラブ定期演奏会

1995年12月21日(木) ザ・シンフォニーホール 開場17:00 開演18:00

- 1 Spirituals 指揮/上野大介
- 2 さすらう若人の歌 作詩・作曲/G. Mahler 編曲/福永陽一郎 指揮/本山秀毅 ピアノ/長田育忠
- 3 男声合唱とピアノのための「縄文」 作詩/宗 左近 作曲/荻久保和明 指揮/上野大介 ピアノ/長田育忠
- 4 Drei Männerchöre 作詩/F. Rückert 作曲/R. Strauss 指揮/関屋 晋

<連絡先>田中幹夫 075-802-5283 / 同志社グリークラブ B O X 075-251-3185

第63回 関西学院グリークラブ・リサイタル

1996年1月20日(土) 神戸文化ホール・大ホール / 1996年1月28日(日) フェスティバルホール

- I. 「MESSA」 作曲/DON LORENZO PEROSI 編曲・指揮/林 雄一郎
- II. 「7つのスペイン民謡」 作曲/Manuel de Falla 編曲/青島広志 指揮/八木俊嗣
- III. 「アフロ・アメリカーナ (仮称)」 指揮/広瀬康夫
- IV. 「ビートルズ曲集 (仮称)」 指揮/北村 協一
- V. 「中原中也の詩から」 作詩/中原中也 作曲/多田武彦 指揮/北村協一

<連絡先>関西学院グリークラブホール 0798-52-6471

大阪大学男声合唱団 第43回定期演奏会

1996年1月30日(火) フェスティバルホール 開場18:00 開演18:30

- 男声合唱曲「永訣の朝」 作詞/宮沢賢治 作曲/鈴木憲夫 指揮/八幡宏志 ピアノ/西浦陽子
- 男声合唱とピアノのための「花に寄せて」 作詞/星野富弘 作曲/新実徳英 指揮/浅井敬壹 ピアノ/藤澤篤子
- The PHANTOM of the OPERA 演出・振付/堯葉子 指揮/古宮知宏 伴奏/A-SO
- 男声合唱曲 組曲「御誦」 作曲/大島ミチル 指揮/八幡宏志 アルト/三井ツヤ子
- ピアノ/清水知子 パーカッション/前川典子・山内利一

<連絡先> 宇田文顕 0727-72-4734

第43回 甲南大学グリークラブリサイタル

1996年2月20日(火) 伊丹アイフォニックホール 開場18:00 開演18:30

本年度委嘱作品「てつがくのライオン」 作詞/工藤直子 作曲/谷岡千代 指揮/西牧 潤

シューマン男声合唱曲集より 指揮/国松雅治

フィンランド民謡集 指揮/松原千振

<連絡先>寺田忠正 078-782-3289